

# 1 議事日程

[令和5年太宰府市議会 予算特別委員会]

令和5年3月16日

午前10時00分

於 全員協議会室

日程第1 議案第14号 令和4年度太宰府市一般会計補正予算(第8号)について

日程第2 議案第16号 令和5年度太宰府市一般会計予算について

## 2 出席委員は次のとおりである(17名)

委員長	陶山良尚	議員	副委員長	木村彰人	議員
委員	タコスキッド	議員	委員	馬場礼子	議員
〃	今泉義文	議員	〃	森田正嗣	議員
〃	入江寿	議員	〃	徳永洋介	議員
〃	船越隆之	議員	〃	堺剛	議員
〃	笠利毅	議員	〃	原田久美子	議員
〃	神武綾	議員	〃	小畠真由美	議員
〃	長谷川公成	議員	〃	橋本健	議員
〃	門田直樹	議員			

## 3 欠席委員は次のとおりである

なし

## 4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名(43名)

総務部長	山浦剛志	総務部経営 企画担当理事	村田誠英
市民生活部長	中島康秀	健康福祉部長	川谷豊
健康福祉部高齢者福祉担当理事 兼高齢者支援課長	行武佐江	都市整備部長	高原清
都市整備部理事 兼総務部理事	山崎謙悟	観光経済部長	友添浩一
教育部長 兼文化学習課長	中山和彦	教育部理事	堀浩二
教育部理事	藤井泰人	総務課長併 選挙管理委員会事務局長	佐藤政吾
経営企画課長	轟貴之	総務課長兼経営企画課長 広報担当課長兼ティアロモーション担当課長	杉山知大
文書情報課長	高原寿子	管財課長	堀修一朗
防災安全課長	竹崎雄一郎	地域コミュニティ課長	宮崎征二
市民課長	野寄正博	税務課長	田代浩
納税課長	大谷賢治	環境課長	高野浩二
人権政策課長兼 人権センター所長	河野貴之	国保年金課長	山口辰男
福祉課長	井本正彦	生活支援課長	江坂研治
介護保険課長	立石泰隆	保育児童課長	伊藤健一
元気づくり課長	安西美香	子育て支援課長	松田勝実

ごじょう保育所長	江坂美輪	都市計画課長	柴田義則
建設課長	齋藤実貴男	観光推進課長兼 地域活性化複合施設本宰府館長	池田哲也
国際・交流課長	松井百合子	産業振興課長	満崎哲也
社会教育課長	添田邦彦	社会教育課教育 施設整備担当課長	福田久博
学校教育課長	鳥飼太	文化財課長	中島恒次郎
スポーツ課長	大石敬介	会計課長	添田朱実
監査委員事務局長	木村昌春		

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（5名）

議会事務局長	木村幸代志	議事課長	花田敏浩
書記	阿部宏亮	書記	三舛貴市
書記	井手梨紗子		

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 皆さん、おはようございます。

ただいまから休会中の予算特別委員会を再開します。

審査に当たっては、各委員からの質問は絞って端的に行っていただくとともに、執行部の回答や説明については簡潔明瞭に回答ください。委員、執行部とも、委員会の円滑かつ効率的な運営にご協力をお願いいたします。

なお、審査に当たりましては、当初予算説明資料、予算審査資料などを参照の上、審査をお願いします。

それでは審査に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 議案第16号 令和5年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（陶山良尚委員） 日程第2、議案第16号「令和5年度太宰府市一般会計予算について」を議題といたします。

お諮りします。

審査に当たっては、事項別明細書の歳出から行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり事項別明細書の歳出から審査を行います。

直ちに審査に入ります。

事項別明細書60ページの歳出1款議会費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 続きまして、次に進みます。

62ページ、2款総務費、1項1目一般管理費について質疑はありませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 職員給与で会計年度任用職員の報酬とか給与がどの部も若干増額していると思うんですけども、やっぱり人事委員会とかの影響が大きいんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） 会計年度任用職員の給与等が増額している件でございますが、今委員がおっしゃったとおり、今年度の人事院勧告等に基づくものが主な要因でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 今、全国的な課題、問題になっているようなんですけども、会計年度任用職員のボーナスや雇用保険事業者負担などが増加していることを背景にして、フルタイム

として行う仕事量は変わらないのに、財政的な理由のみでフルタイム勤務を抑制して、パートタイム勤務を強要するような例が起きているようです。総務省の会計年度任用職員マニュアルには、財政上の制約を理由として、合理的な理由なく短い勤務時間を設定するのは適切でないとされています。また、度々総務省からも、このような不適切な取扱いを行わないように通知されていると思うんですけども、本市においても財政上の制約を主な理由としてフルタイム勤務の抑制は行われているのでしょうか、お伺いします。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） 今委員おっしゃったような財政上の理由では、そういったことは行っておりません。今後の運用に当たりまして、そのあたりは留意してまいりたいと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） ネットとかで調べていると、厚生労働省とかのヒアリングとかの中に、大量離脱通知提出義務というような言葉があるんですけども、ご存じでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） すみません、ちょっと今、申し訳ございません、把握しておりませんので、ちょっと後で。申し訳ございません。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員、ちょっと質問の内容が一般質問化しておりましたので、質疑でございますので、その辺よろしくお願いします。

ほかにはありませんか。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 63ページ、細目002防犯対策費の中で、青色回転灯パトロール推進事業について、これ、内容としては、青色回転灯の無償貸与事業ということですけども、これについてちょっとご説明をいただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 交通安全の推進に向けまして、自治会等で行っていただいております個人の車を登録いただいて、それを青パトとして活用いただくための青色の回転灯に係る費用でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） あわせて、資料をいただいたんですが、ありがとうございます。審査資料の26ページ、資料としては青色回転灯パトロールの推進の中で、青パトの配備状況という資料をいただきました。ありがとうございます。それによりますと、これ、自治会としてはどっちかという西校区が多いんですよ。東のほうが少ない。東のほうは校区自治協議会というところに1台ずつ配備されているんですけども、自治会に青パトがそもそもあるところは、青色回転灯のこの事業はあまり需要がないのかなと思われるんですけども、以前これ、青パトの配備の補助金が出ていたと思うんですけども、日本財団か何かで。この青色回転灯

の貸与の事業があるということは、これから先はもう青パトの補助というのはなくなるというふうに考えていてよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 青色回転灯、青パトのほうの購入に関しまして、負担もございませぬので、個人さんといいますか、普通の乗用車のほうを防犯団体としての登録をいただいて、活動しやすくなるというか、その後押しの考えの下、回転灯を無償で貸し出すということで考えております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に進みます。

それでは、64ページ、2目文書費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、64ページ、3目法制費及び次のページ66ページ、67ページ、4目広報費について質疑はありませんか。

そしたら、橋本委員から先をお願いします。

○委員（橋本 健委員） 67ページの市政だより費、印刷製本費ですね。昨年よりも311万円、正確に言うと、増額になっているんですけども、理由を説明してください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（杉山知大） こちらにつきましては、昨年補正予算で債務負担の計上をさせていただいたところでございますが、その中で見積りを徴取する中で、物価高騰に伴います用紙代の高騰等の理由によりまして見積額が上がっているというところが主な理由でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） ページが増えるとか、そういう事情じゃないんですね。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（杉山知大） ページの量につきましては、従来のページ数で見積りを出しているというところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 67ページですね、市長と語る会費なんです、これが11万8,000円上がっております。まだ市長と語る会は再開は決まってないということだったんですけども、こういう形で、もう議会も意見交換会を始めております。これはどういうふうな形で進めるのかをご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（杉山知大） 今委員おっしゃったように、令和3年6月議会で副市長のほうからご答弁させていただきましたように、コロナ禍の中、令和3年度以降の語る会の開催を今見送っているところでございます。市長と語る会という大きなくくりで考えたときには、市長は日々SNSでの双方向でのコミュニケーションとか、日頃から市長室、イベント現場においての多くの方々と意見を交わすなど、日頃の政治家としての日常活動を通じて、日々広聴機能を意識しながら取り組んでまいったところでございます。令和5年度につきましても、開催の形式を含めて、特定の方々だけでなく多くの皆様にご参加いただけるような在り方を踏まえながら、コロナ禍後にふさわしい方法を今検討しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 現状の説明はそれで一応分かりましたけれども、予算として上がっている以上は、記録をきちんと市として、市長と語る会の、残していくというのが大切だと思うんですけども、先ほどの説明のような在り方だったら記録を残しづらい形になるかと思うので、どのような形で市長と語る会の内容を後に残していくという心積もりでおられるのかをちょっとお聞きしたい。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（杉山知大） 全てを記録ができているという状況では、正直申し上げて今のところはございませんが、もちろん広聴業務として考えたときにおきましては、日々お手紙をいただいたりとか、それからメールですね、それから直接ご連絡いただいたものに関しての情報に関して、ホームページで、お手紙でお問合せいただいたものに関して広くお伝えできるものは公表もしておりますし、全てではないというところではございますけれども、そういったどういった意見が届いているかという在り方につきましても、これから検討する必要はあるとは思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に進みます。

5目財政管理費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 毎年のように、すみません、67ページの新公会計支援業務委託料が約100万円ずつぐらい毎年上がってはきているんですけども、これはもう状況はどんななのか、民間の複式簿記のほうに移行していかないといけなくて、これ市庁舎内は今どういう状況にいるのか、ちょっと教えていただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） まず、現在財務書類につきましては、資産状況等について見える化を行い、市ホームページでも公表を行っているところでございますが、活用、こちらにつきましては、全国的にはちょっとあまり進んでおらず、課題となっているところでございますが、本市としまして、今後の公共施設の管理等への活用など、先進事例を参考に検討してまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 毎年上がるこの100万円というのは金額がよく分からないんですけれども、庁舎内の職員の研修であるとか、1つ、今課長がおっしゃったように、公共施設を今後どうしていくかというところの減価償却を出していくためには必ず必要なところなので、ここに的を絞って研修をしていこうとしているのか、方向性がよく分からないところでこれ毎回100万円上がってきているんですが、大事なこれは民間に合わせていく市の取組ですから、財政の要になる部分なんですけど、こんな形でいいのかどうか、もう少しその辺を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） 今現在、こちらの予算につきましては、財務書類作成のための金額になっております。今現在の状況のほうを再度ご説明いたしますと、やはり全国においても公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっているところでございます。今後、人口減少等などにより施設の利用事情が変化していくことが予想されることを踏まえて、全体の状況を把握して、施設の最適な配置を実現していくことが必要になるかなと考えているところでございます。市におきましても、総合戦略にも打ち出しております公共施設再編、運営を見直す際の活用について調査研究を進めてまいりたいと考えております。また、職員につきましては、毎年研究のほうにも参加のほうをさせておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に進みます。

6目会計管理費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に進みます。

7目財産管理費について質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、細目001の積立金、公共施設整備積立金ですが、令和3年度の末は多分10億円ぐらいあったと思うんですが、今現在どれぐらい残高があるのかお知らせいただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） 公共施設整備基金の残高でございますが、こちら、令和4年度末、予算ベースでの見込額になりますが、約23億9,000万円となっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） この公共施設の積立金、基金の運用の在り方については、市が運用されているので問題ないと思いますが、この件は計画的に、今後の再編に当たって、この運用計画をきちっと整えてこの金額を査定されているという状況で認識しとってよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 一応この基金については、毎年改修事業計画を立てたりして計画的に使っております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

そしたら、橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 69ページ、庁舎維持管理費の10節、光熱水費なんですけれども、これが昨年度と比較しまして1,400万円ぐらいアップしているんですよね、今回計上されていると。この理由を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 光熱水費については、新電力の契約を今年の1月末までしていましたが、それが2月以降は最終供給保障料金ということで少し割高な料金体系に変わっております。それまでですと、新電力で割引かれていた分が約4割ほどありましたので、その分値上がりをしております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） それで、これは1階から5階までの全館の合計ということですね。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） そのとおりです。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 同じく、今橋本委員の言われたところの上の1節報酬のところですけども、会計年度任用職員が、これは新しく多分管財課に入ったのかと思うんですけども、どのような仕事を期待して採ることにしたのかということをお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） この会計年度任用職員については、今現在も雇用している職員になる



のですが、予算的には総務課のほうで見ていただいていた職員を管財課のほうに移しただけで、業務内容については変わりません。管財課の事務補助業務をしていただいています。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） じゃあ確認ですけれども、昨年の表では総務課に入っていたものがこちらに移ったということですね。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） そのとおりです。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、この項目のどこかというところではないんですが、今庁舎内のATMが撤去された状況で、このことについては今のところ、次ATMについてのめどが立っているのか、もう設置が今のところちょっと検討がなされてないのか、厳しいのか、その状況だけ教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） ATMに関しては農協さんが設置されていたものになりまして、農協さんが新店舗を建設する際に、ATMが近距離にあるということで、やっぱりATMを維持するだけでもかなりのコストがかかるということで、やむなくATMは農協さんによって撤去されました。ただ、撤去に際しても、市のほうから何とか置いていただけないかということでお願いはしたんですが、やっぱり経営上ちょっと難しいということで、断られた状況になります。

その撤去に際して、ほかのATMも検討できないかということで、いろいろ今コンビニとかに置いてあるATM機の検討はしたんですが、やっぱり市役所というのが平日の8時半から5時までしか開いてないということで、24時間開いているコンビニと違ってなかなか利益が出にくいので、かなりの負担金をお支払いしないとつけれないということで、正直やんわり断られている状況になります。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） このATMについては私も調べていたんですが、近隣市でないところはうちだけになるんですね。市民サービスにおいてどうなのかという問題があって、撤去された段階で、やはりこれは説明をしないといけないというふうに思いました。これは回答はいいですので、この辺ちょっと市民サービスの観点から、ATMについて何か、職員さんも困ると思うんですね。その辺、何かいい案が出れば、またよろしくお願いたします。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 細目004の庁舎維持管理費の中で、10の修繕料の190万円というのがあります。

ますけれども、これ、今回議会事務局の棟のトイレの手洗いのところのセンサー式になっているやつ、これは含まれるんですかね、この中に。これは維持とは別ですか。

○委員長（陶山良尚委員） それは議会のことですかね。

○委員（船越隆之委員） うん。あれいいとかいな。

○委員長（陶山良尚委員） 新年度予算。

○委員（船越隆之委員） 令和4年度か。申し訳ございません。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に進みます。

70ページ、71ページですね。8目契約管理費、9目財政調整基金費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に進みます。

70ページ、72ページ、ずっと行きますして、74、75ページまでですね。10目の人事管理費について質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） 75ページの上の欄もよかったですか。

○委員長（陶山良尚委員） はい、75ページ。

○委員（堺 剛委員） 人事交流人件費負担金900万円について、内容をお願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） こちらの人事交流人件費負担金でございますが、来年度、民間の事業者との交流、今もしておりますが、その継続というところで予算計上させていただいているところです。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） 継続ということで、新規ではないということ考えてよろしいですね。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） こちらの費用は、具体的に言いますと西鉄さんとの費用になります。新たな人事交流といたしましては、予算は計上していないんですけれども、一応4月から国で今度こども家庭庁が新設されます。そちらのほうに派遣は今予定しているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、74ページ、76ページですね、2款総務費、2項企画費、1目企画総務費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目公文書管理費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員(小島真由美委員) 77ページの、77ページ行きましたっけ。

○委員長(陶山良尚委員) 今、公文書管理費です。

○委員(小島真由美委員) すみません、すみません。

○委員長(陶山良尚委員) いいですか。

それでは、公文書管理費について質疑はありませんか。

○委員(小島真由美委員) 戻ってもいいですか。

○委員長(陶山良尚委員) そうですか、戻ってさっきの。前のところですね。

○委員(小島真由美委員) すみません。12節のふるさと納税関連業務委託料、これは資料請求か何かいただいていたんですよね。

(「今何ページ」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 今77ページですね。

○委員(小島真由美委員) これ、令和5年度の、予算審査資料の27ページですね。これを見ますと、ふるさと納税の関連業務委託料自体が、令和4年度で見ますと当初予算から広告掲載料で約400万円、委託料で1.2億円ぐらい補正が入って、当初予算から膨れ上がっていますよね。今回、この令和5年度の分のこの当初予算の金額からまた膨れ上がる可能性があるのか。ここは非常に危惧しているのが、私、昔証券会社で株式とかの法人、個人さんの運用をしていたんで、ちょっと過熱してくると結構熱くなって、そこに利益が出始めると集中した、ただこれは原資が税金なので、ある程度のところで収入を止めて、それから市民サービスのほうに職員さんの熱量なんかもそっちにシフトしていかないといけないので、その辺のある程度の安定というところでの物の見方が、何億円ぐらい、これは真水でいくと今のところが、今年度が約6億4,000万円ぐらいの金額を見ているというところですよ。この6億円ベースで取りあえず収めながら、このぐらいの収入をめどにやっといこうとしているのか、もっと上を目指そうとしているのか。何かちょっと、すごくここ過熱感があって危惧しているところがありますが、その辺の状況はいかがなんでしょう。これは市長に聞いたほうが本当はいいのかもしれませんが。すみません、答えにくいかもしれませんね。ごめんなさいね。

○委員長(陶山良尚委員) 経営企画課長。

○経営企画課長(轟 貴之) 実は、こちらのふるさと納税につきましては、総合戦略におきましては目標金額を10億円に設定しております。ですから、市としましては10億円を確実に達成できるような形で取り組んでいきたいというところですが、おかげさまで今のところ寄附額のほうが目標額を超えた額のほうをいただいております、また国にというか、全国のふるさと納税市場の伸び率、そのあたりも勘案した形で、今回歳入予算15億円ということで算出しておるところでございます。ですから、市としては目標金額としては10億円をキープしてきてという

ところの考えで実施しておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ありがとうございます。これ、考え方なんですけれども、これは真水で捉えないと大ごとしますよ。これ、12億円だとか10億円だとか20億円だとかと言っているけれども、これは半分は経費ですから。なので、そこにもっと職員のエネルギーも入っているわけで、なので、自治体ですので、内容もこれよく精査しないと、大きいところだけが利益が出てというようなバランスもあったり、格差が出てもいけませんので、目的感を間違えると、ふるさと納税って結構問題にはなってくるので、ある程度真水の部分で幾らというところを抑えていかないと、これじゃあ、また令和4年度みたいに補正で委託料が膨れ上がる可能性があるということで認識しとっていいんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） まず、令和4年度の補正のアバウトな説明をさせていただきますと、これは収入、寄附をいただきますと、それは返礼品がございますので、その分、収入も入ってきますけれども、一定程度は支払いをしなければならないということでございますので、昨年度の補正させていただいた経緯は、寄附額が当初予算よりも増えてきましたので、それに応じて補正させていただいたということでございます。

そういった意味で、今年度も同じようなことがあるかないかということをおっしゃったかと思うんですけれども、今15億円で予算計上しておりますけれども、それを超えることになってくると、当然補正の可能性は出てくるとは思っておりますが、現状はこの範囲で収まるだろうと思ってこの額をやっているところでございます。

先ほど真水云々というお話もございました。これは両方大事なところがございまして、例えば総額もこれは実は大事でございまして、これは契約上の関係で細かいパーセンテージは申し上げられないんですけれども、総額が増えれば増えるほど委託業者は委託率を下げただけということがございますので、結果として我々に入ってくる実入りが増えるという事情もございます。当然支出もございますので、そこは両方しっかりバランスを見ながら、今後も運営に取り組んでいきたいというふうに考えているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） これは基本的に第1次産業がしっかりしているところがベストに入っているわけですね、どうしても。あまり熱くならないようにしてもらいたいなと思っていて、これだけではなくて、「梅」プロジェクトも要するにこれに関わって毎年1,000万円入っているわけじゃないですか。だから、ふるさと納税中心に、ほかの関連の原資となるのは税金が投入されているという現状があるということ、ここは理事、少し考えたほうがいいと思えますよ。

○委員長（陶山良尚委員） 回答はいいですか。

総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） もちろん費用感が係っていることは認識しております。

これは実際予算額もありますし、経営企画課の職員が手を動かす部分もございますので、そういうことを意図しまして、先ほどバランスを見ながらしっかりと運営に取り組んでまいりたいと申し上げた次第でございます。しっかりその点、意識していきたいと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、戻りまして、公文書館費については質疑はよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは続きまして、78、79ページですね。3目の交流費について質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、改めて交流費の中の細目003大学等交流事業費、前々から少しずつご案内いただいているんですが、この内容、概況が分かれば、新たな科目なのでお示しをお願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。

○国際・交流課長（松井百合子） 大学等交流事業費につきましては、予算審査資料のほうにも載せさせていただいておりますけれども、全世代交流フリースペースの活用事業と子ども学生美術展と、あとは前々からあります太宰府キャンパスネットワーク会議、この予算を計上させていただいております。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） この科目につきましては、これから経常的な経費という考え方でよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。

○国際・交流課長（松井百合子） 今から有識者の方といろいろお話をしながら進めていく事業というふうに考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） では、この経費につきましては、今後また経費が拡大していく可能性はあるということで捉えとってよろしいんですね。

○委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。

○国際・交流課長（松井百合子） 経費につきましては、この範囲内で収まるような形でのイベントを行いたいと思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今の堺委員の関連ですけれども、大学等交流事業費となっていますので、等というのが高校まで含めるのか。市内の高校さんが幾つか、どちらかという和多いほうだと思うんですけれども。太宰府高校がコミュニティ・スクールになったというふうに聞いたんですけれども、そこら辺のこれからの市との関わりとかというのは、今はどんなふうになっているのでしょうか、これからどうなるかということまで。

○委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。

○国際・交流課長（松井百合子） 大学等交流事業費につきましては、高校も令和4年から高大連携ということで、キャンパスネットワーク会議の中に高校のほうはオブザーバー参加ということで参加していただいております。

コミュニティ・スクールの件につきましては、部長お願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 観光経済部長。

○観光経済部長（友添浩一） 太宰府高校のコミュニティ・スクールにつきましては、現在、観光経済部長の私と教育部理事、この2人がコミュニティ・スクールの委員ということで今携わらせていただいております。次年度からまた県のほうで正式にコミュニティ・スクールを発足するというふうに伺っておりますので、私どもも継続して関わらせていただき、より連携していきたいというふうにちょっと思っているところです。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 関連しまして、資料のほうが予算説明資料の11ページ、子ども学生美術展・世界に羽ばたく人材育成表彰184万円について、この内容としては、文化、芸術、スポーツ等の分野で活躍している若者を表彰するという事なんですけれども、これ金額的に結構184万円は大きいんですけれども、これ、どちらかという文化の支援という形に考えています。対極としてスポーツの全国大会支援というのがありますけれども、その文化事業版のように理解しているんですが、これ表彰するだけじゃなくて、文化活動に対しての支援というものがあるのかということと、それと表彰するに当たっては、支援するに当たっては基準というものがあるのか、それを確認したいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。

○国際・交流課長（松井百合子） 国際・交流課のほうでは、子ども学生美術展のほうの事業のほうを行おうと思っておるんですけれども、この中で大学等交流事業費のうちの155万5,000円、これが一応子ども学生美術展のほうに当たります。ただ、この内容にいたしましては、155万5,000円と組ませてはいただいているんですけれども、まだどういうふうな規模で行うかとかというのは今から、すみませんけれども、いろいろ考えていきたいというふうに思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） 世界に羽ばたく人材育成表彰につきましては、総務課のほうを担当いたしております。こちらは2月に行いました市制40周年記念事業の中で、世界に羽ばたく人材育成表彰ということで表彰式を行いました。それを来年度以降も続けてまいりたいと考えておりまして、その費用を計上させていただいているところです。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） これ、令和4年度の市制施行40周年から始まったということで、市長肝煎りのトップダウンの事業と理解しております。これ、内容としてはすごくいいことだと思うんですが、基準ですよ、しっかり基準を持って、スポーツの支援のほうは条例という形であるんですよ、支援の条例があります。こっちのほう、その裏づけとなるものをしっかり持って取り組んでいただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） いいですね、要望で。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、78ページ、次の80ページまでですね。4目男女共同参画推進費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） これは馬場委員のほうから一般質問があった内容なんですけど、81ページの女性に対する暴力相談業務委託料と女性相談業務委託料とかなり金額が違っているようです。ここの立て分け方というのはどう考えたらいいかということと、それから令和4年度の事業の中で、DV被害者支援関連課の連絡会議であるとか相談業務会議とかケース会議などの開催時に、この方たちはどういう立ち位置なのか、そういう会議等はどんなふうに行われているのか、内容がちょっと見づらいので教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） まず、1点目の女性に対する暴力相談業務委託料と女性相談業務委託料の立ち位置ですが、女性に対する暴力相談業務委託料は、令和3年度以前から実施しました筑紫地区5市共同で筑紫女性ホットラインのほうに電話相談の委託を行っておりますので、この費用でございます。

それから、2点目のDV被害者支援関係課連絡会議ですけれども、通例は年に1回か2回実施しております。ケース会議、相談業務会議等は必要に応じて随時開いておりますが、この中に、委託の相談員は基本的には必要に応じて同席をいたしまして、相談の中で持ち得た所感とか、あるいは指導、援助等がございましたら、それで発言をいただいて、それで情報共有あるいは支援、相談等につながるということで考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） この相談件数が八十数件だったと一般質問の中で回答があったような気がして、すみません、間違っていたらすみません。その中で相談業務会議とかケース会議とか、さっき言った支援関係の連絡会議とかというのは、ここが中心になって要するにケアしていくはずなんです、この会議が今言ったら年に1回とかという話でしたけれども、八十数人の相談の内容があって、会議はほかにこれは行われていなかったんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） 今申し上げた年に1回か2回というのは、関係課全課が集まって通常の情報交換、意見交換等がありますので、この個別のケース会議というのは必要に応じて随時実施をしております。その中で、その他情報共有ということで、令和2年度37件、令和3年度は43件だったんですが、令和4年度は132件ということで相談受付がっておりますが、この件数の中に、ケース会議等で情報共有をした件数も含まれているところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ありがとうございます。子育て支援センターのほうもDVのほうを同時並行でさせて、もっと年齢が低いところもあるんですけども、ここのやり取りをもう少ししっかりして、言うなれば2本柱でやっているわけですから、もう少しこの辺の連絡のガラス張りになりながら、共有をしっかり強くしていただきたいというのを、これは要望として、また来年度聞きますので、よろしくをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、80ページですね、次のページまで、5目地域づくり推進費について質疑はありませんか。

そしたら、笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 2点あるんですけども、最初に細目002のボランティア関係費、これはボランティアセンターのことかと思うんですが、予算説明資料で、この費用は地域コミュニティの活性化というところに、24ページですね、丸々入れられているかと思うんですけども、去年は地域コミュニティの推進ということの中にはこのボランティア関係費は含まれていなかったんですけども、何かしらその次に来る地域コミュニティ推進とボランティア関係の費用と併せて何かをやっていくという意思表示なのかどうか、ちょっとどういうことを考えて一緒にしたのかということをお聞きしたい、それが1つ。

もう一つは、003の地域コミュニティ推進費のほうなんですけれども、これは多くは自治会に対する補助かと思うんですけども、補助金、助成金の見直しをしていきたいというのはずっと言われ続けてきましたけれども、区費の負担が重いという声も聞かれますね。各自治会のどれぐらい補助をもらってどのように使っているかというのは、毎年度各自治会で報告がされ



ているかと思うんですけども、会計報告のようなものを市として1部ぐらい見せていただいているとか、補助金がどのようなふうにも実際使われていくかを確認するすべというのを持っているのかどうかというのをちょっとお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） まず、1点目のボランティアの費用についてでございます。

施政方針のほうで市長が述べさせていただきましたけれども、地域コミュニティの活性化、地域コミュニティにはそれぞれ自治会などがございますが、それに加えて様々な団体ですね、NPO、市民活動団体、そういったことが地域課題とか地域活動に参加していくということの後押ししていきたい。新しい公共というキーワードで述べさせていただいておりますが、そういう非常に関連があることであるということでもまとめたところで、地域コミュニティの活性化ということで計上させていただいたという流れでございます。

もう一点、区の区費の関係とかの負担でございますけれども、大きく003コミュニティ推進費の中には、地域コミュニティ推進事業補助金、もう一点、地域運営支援助成金という自治協議会並びに各自治会に補助、助成をしている分がございます。それぞれにおいてこういった事業をされてあるのか、自治会も全自治会においてどういう助成金を使われているのかなどの、総会資料も当然ありますし、事細かな報告という形ではいただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 1点目に関して言えば、せっかくくくったのですから、ちょっと具体的な構想みたいなものは今聞けなかったように思うんですけども、目的としては同じ中でのことなので、具体的な施策にあるいは活動に結びつけていってください。これは希望ですね。

2点目に関しては、区費は負担に感じる家庭もやはりあるんですね。削減云々ということは別にしてもですけども、場合によっては、先日一般質問でしたっけね、自治会の加入率は太宰府は高いほうだというような話がたしか出ていたかとは思いますが、せっかく高い自治会の加入率を維持していくためにも、何らかの形で、今総会資料はいただいているというような話でしたので、しっかりと各市民の状況を把握するためにも、総会資料を確認するようなことを続けていってほしいと思います。2つとも希望です。

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 83ページですね、005路線バス運行支援費なんですけれども、これは太宰府・宇美線で理解しとってよろしいですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） はい、そのとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 83ページの高齢者向けスマートフォン講座委託料、広報周知の中で必ずホームページに記載されていますとおっしゃっているんですけども、なかなか高齢者はそこまでたどり着けないので、これすごくいいなと思うんですけども、これ44自治会に向けてどれぐらいの頻度でされているのかな。18万円、結構安いんですけども、どういう状況でやられているのかなと思って、お聞きしたいです。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） スマートフォン教室でございますけれども、まず令和4年度もやっております、同じ定数なんですけど、市のほうでは大体2つぐらいの自治会でやっております。募集するのに当たっては、全自治会にどこかございませんかという呼びかけをさせていただいているんですけども、それ以外に、本年度におきましては総務省の事業採択を受けまして、実際の補助は事業者にされるものなんですけれども、市が仲介という形で、それが5つの自治会で行われておりまして、それぞれ1自治会5回程度の講座なんですけれども、それも全自治会にお呼びかけをさせていただいて開催していると。

もう一点なんですけれども、やはり今スマートフォンの広がり、3Gから4Gへ、そういった流れもありまして、事業者さんが各自治会にお声かけをされて、自治会と事業者さん、例えばショップさんですね、携帯の、で実施される分が、これが令和4年度でいけば9つぐらいの自治会でされております。市が2つ、この予算に上がっているのが。

流れとしましては、今各自治会でもう結構動かれているところがございまして、自治会と事業者さんでされる分、それにそれをされなかったところのうち、どなたか総務省のとお声かけさせてもらって、それに間に合わなくて、やっぱり市のほうで何かできないかなというご相談をいただいたところをまた市でというふうな、3段階のような形で、今年度でいけば16ほどの自治会でやられております。同額を来年度しているんですけども、総務省とか事業者がまだ来年度どういう状況になるか分かりませんが、1回あたり公民館のほうでやりまして、自治会のほうにお声かけをお願いしまして、あまり多くてもちょっと運営が難しいみたいなので、15名程度の方でご好評をいただいていると、そういった状況でございます。すみません、長くなりました。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。先ほど申し上げたように、やっぱりホームページとかをのぞいていただきたいので、力を入れていただきたいなと思います。ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） 関連ですけども、この高齢者向けスマートフォン講座というのが単なる市民サービスで、スマートフォンを楽しく使ってくださいよというようなものなのか、今度だざいふペイとかの推進に当たって、紙ラク商品券とかを今後なくしていこうという目的

なのか、例えばそういう高齢者の詐欺被害とかというのを防ぐというような、何かそういういろいろな目的があると思うんですけども、何か具体的にこれを目的のためにやっていますというのがあれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 先ほど申しましたようにいろいろな自治会でやられておりました、それぞれの自治会で進捗と申しますか、進み具合がちょっと違っていて、例で挙げますと、今最近までですけどもマイナンバーの取得促進であったり、そういったことをメインターゲットにスマホ講座もマイナンバーの申請方法を前提として集めるとか。もう一点、お友達同士でつながるのにLINEであったりとか、家族とつながるのにビデオ通話、そういった基本的な操作方法から入っていただいて、デジタル活用というか、そういったことに遅れていけないようにというか、逆に先に行くようにというふうなご案内から始めるところもある。継続して続けていっている回数を伸ばしていっているところもありまして、どんどん新しいコンテンツというか、そういうところに広がりを見せているというふうなところもございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 81ページ、コミュニティバス運営費の中で14節工事請負費のバス停留所等整備工事、これに関する事だと思っておりますが、過年度もう予算可決されていて、つつじヶ丘区のまほろば号の延伸の件です。こちらのほう、もう数年前に可決されているにもかかわらず、延伸がまだ実行されていないと。これ、つつじヶ丘区の自治会長さんのほうからちょっと聞かれたんですけども、非常に答えに窮しておるんですが、予算もついているにもかかわらず実行できない、そこら辺をちょっとご説明いただきたいと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 過去の予算において、こちらからご答弁さしあげたようなつつじヶ丘の延伸をベースとしたバス停留所設置工事というのは確かにございました。課題と、まほろば号は幾つかご要望というか、我々今、運行を何とか維持、このコロナ禍において様々なものが高騰していく中で、収入も減っていくという中で、何とか頑張って維持をしているところで、一方、様々なご要望、こちらに伸ばしてほしいとか、時間がもうちょっと欲しいとか、そういったご要望もいただいていることも事実です。その中の大きな一つの中で、つつじヶ丘は確かにございます。

我々も過去いろいろ現地を見て、バス停留所とかそういった検討をしております。どうしても延伸をいたしますと、そこだけの改正で済まないというか、いろいろなダイヤの編成であったりとかそういったものに絡んでいきますので、総合的な改革も控えておりますが、そういった改革というか、ダイヤ改正全体の中でちょっと今検討をしているところなので、具体的にそれができるようになりましたら、当然そういったものを解決する一つとしてのつつじヶ丘延伸

というところは考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） ちょっと個別の話で申し訳ないんですけども、そしたらちなみに令和5年度の予算には、その延伸部分の予算は引き継がれていると考えていいのかということと、全体のダイヤ改正に併せて延伸はやるというふうに地元のほうに答えていていいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 実際、ダイヤ改正がいつかというのは、ちょっとまだここで申し上げることはできないんですけども、先ほど副委員長ご質問のバス停留所というのは、いろいろなバス停を増やしてほしいというご要望もある中の一つの予算でございますので、令和5年度中にもしあれば、こちらの予算からバス停留所を設置していくという形にはなりません。ただ、具体的にいつやるかというのは、ちょっと今ここでまだ決定しておりませんので、申し上げることはできません。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） すみません、ちょっともうちょっと確認。つつじヶ丘の延伸は、前回、前々回か予算化されましたけれども、令和5年に引き継がれておると理解してよろしいんですね。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） そういったこともできる予算ということで入れております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 83ページ、004市民政庁まつり関係費、この400万円について内容が、今から話し合っていられると思いますけれども、規模、場所とかそういうふうなことは例年どおりされるのか、ちょっとそこのところを、400万円についての内訳を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 市民政庁まつりでございますが、委員の皆様ご存じのとおり、過去3回、コロナによる中止をさせていただいているところです。今年度につきましては、例年と同額の予算を計上しておりますところですが、結論から申し上げますと、まだちょっと全くの未定でございます、やっぱりコロナが今度5月に類が変わって行って、どういった形になるのか。実行委員の皆様の中にはご心配されている中で、一定期間空いていますので、さあ、再始動ということになっても、政庁まつりは協賛金などでかなり市民の皆様を含めご協力いただいた上での開催となりますので、どういった形が望ましいのか、そのあたりも実行委員さんの皆様集まって知恵を出し合っということと今のところ考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） すみません、先ほどちょっと別なんですけれども、財源のほうのページなんですけれども、80ページか。県の支出金の1,000万円というのがありますよね。これは41ページの生活交通確保対策補助金だと思ってよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） それは歳入について。

○委員（笠利 毅委員） まず、歳出の部分でいうと、県の支出金の1,000万円が、41ページの生活交通確保対策補助金に当たるのかという質問です。もし歳入のほうで聞いたほうがいいのかというのであれば、そちらで聞きますけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 笠利委員おっしゃるとおりでございます。こちらにある1,000万円というのは、歳入41ページの生活交通になります。具体的には、コミュニティバスの運営に関する県の補助金ということになっております。

以上でございます。

○委員（笠利 毅委員） じゃあ、続きは歳入のほうで聞きます。

○委員長（陶山良尚委員） 分かりました。

ほかにありませんか。

よろしいですかね。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） すみません、83ページ、先ほどもご質問がありましたけれども、細節が005路線バス運行支援費、これ太宰府・宇美線なんです。これ令和4年度から運行支援という形で出てきましたが、これ路線を維持するためには必要な支援だとは思っているんですけれども、これできればなるべく減らす方向でいきたいところですね。そこで、これ宇美町と本市と西鉄の間で常設のこの協議の場とかは持っていらっしゃるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 常設という形ではないんですけれども、もちろん路線を廃止、維持というところでは、福岡県、運輸支局も含めまして会議体を持っておりました。事業者さん、宇美町さん、話し合っております。宇美町さんと我々で今担当ベースで話しているのは、この問題も一年一年、一年一年というか、日々なんですけれども、ずっと話し合っていないといけない問題であるということで意思確認をしまして、定期的に、西鉄さんも集まって、勉強会をしたりとか意見交換をしたりということをしようというふうに確認しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） まほろば号に関連していいですか。まほろば号の運賃を市内と市外と分けて徴収するというようなお話が令和4年度の予算のときにあったと思うんですけども、これは令和5年度も引き続きされる予定なのか、実際どういうふうなシステムになっているかというのをちょっとご説明いただけますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 神武委員言われているのは、主に竈門神社方面というところのお話だったかと思うんですけども、結論からちょっと先に申し上げておきますと、今のところ運賃改定、全くのフラットベースで話しておりまして、この予算の中に入っているかと言われれば、入ってございません。

そのときにもいろいろなお話をさせていただいたかと思うんですけども、やっぱり現在のバス事業の許認可というか許可の中では、運賃設定はまず1本であるということ、観光客だから、市民だからというふうな基本運賃を二重に設定することはちょっと難しいという状況でございました。

そういう難しい状況プラス、コロナ禍での見込んだ観光客がそれほど見込めなかったということが、ちょっと事業を一旦先送りしている状態でございまして、ただ観光客の基本運賃をつくった上で割引制度をつくるとか、いろいろなアイデアはあると思いますので、今後も運賃全体の中での検討、あと局所的にも、ご質問も一般質問なんかでも代表質問なんかでもいただきましたけれども、そういったところは当然頭に入れながら、まほろば号の改正、改定に向けて検討をしておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 利用料をどうするか、市内、市外を分けるかという話って、結構ここの予算特別委員会の中でも委員からいろいろ意見があったと思うんですけども、ちょっと止まってしまったというのは、もともと上げるときのつくり方がちょっと甘かったんじゃないかなって、今ちょっと率直な感想ですけども、令和5年度はそれは今のところ入っていないところですよ、でよろしいですかね。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

ほかには。

よろしいですかね。回答する。

地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 神武委員の言われた、多分200円に上げるというのが令和3年度の分のときのお話だったかなと思いますけれども、一旦それは委員おっしゃるように、まだ令和5年度には入っておりませんということですよ、よろしいかと思えます。

以上でございます。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) そうしましたら、ここで11時15分まで休憩いたします。

休憩 午前11時03分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午前11時15分

○委員長(陶山良尚委員) 再開します。

それでは、82ページ、2款総務費、3項徴税費、1目税務総務費、併せて2目賦課徴収費、次のページまでですね、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、84ページ、2款総務費、4項戸籍住民基本台帳費、1目戸籍住民基本台帳費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 2目住居表示費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、88ページ、2款総務費、5項選挙費、これは取りあえず1目、2目選挙常時啓発費までについて質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3目県知事及び県議会議員一般選挙費、併せて参議院議員通常選挙費、次のページまでですね、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) では次に、90ページ、2款総務費、6項統計調査費、1目統計調査総務費、そして2目の基幹統計調査費、次のページまでですね、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは次に、92ページ、7項監査委員費、1目監査委員費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは次に、94ページ、3款民生費に入ります。

1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、次のページまでですね、について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員(小島真由美委員) 95ページの005地域福祉関係費のここに30万円上がっているのが、これは予算説明書のひきこもりの分ですかね。19ページのひきこもりの孤独・孤立対策の推進ということで30万円上がってきていて、これはどういう内容の、調査で30万円なんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 地域福祉関係費のこの報償費、講師謝礼30万円でございますが、説明資料の19ページの孤独・孤立対策の推進の中に書いております職員を対象とした研修ということで、講師謝礼ということで想定をしております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 職員の研修ということですね。今このひきこもりの受皿となっているのが、太宰府市が大分増えてきましたけれども、B型就労支援の施設であるとか、手帳を持っていない方、それはそれでまたいらっしゃるんですけども、そのB型の施設の方からちょっとお声がかかって何か所かお話をしたときに、やはり年齢層も高くなってきていてということもあったんですが、市の職員さんの知識不足というところは指摘されました。

それと同時に、やはりB型支援の施設がこれだけ増えてきましたので、懇談会というか、何か意見交換会とか、ひきこもりの一番の現場がB型就労とかこういう施設かなというふうに感じました。その辺はどんなふうを考えてあるのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 職員のほうのこの30万円については、意識づけと、学ぶというところではあります。かつ、事業所が就労のBというところがかなり増えてきているというところ、委員ご指摘のとおりでございます。そういった事業所に対して、福祉課の職員が出向いて行って、現状を聞き取ったり、そういった意見交換をするというような場を設定はしております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） この職員の研修というか勉強会の中で、こういった声があったことをちょっとお伝えしておきます。こういうことはどうでしょうかという資料を持っていったときに、ああ、これは何の資料ですか、ちょっとコピーさせてくださいって職員がおっしゃって、いえ、これは国からの、国に載っていますよというような会話があったそうです。やはりそういう国の制度的なものの勉強会も、しっかりと必要じゃないかなというふうに思います。

今とっても難しく、とってもどんどん改正されていますし、ついていくのにも大変だと思えますので、制度をきちんとこういう事業者さんと共有できる知識をしっかり持つということが大事だと思いますので、講師が来て、報償で30万円上がっていますけれども、勉強という意味でよろしくお願ひしたいと思えます。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、要望でいいですね。

ほかにはありませんか。

今泉委員。

○委員（今泉義文委員） 95ページの細目004の18節の中に社会福祉協議会運営費補助金、前年度が8,200万円ぐらいで、今回が7,500万円ぐらいと。どうして減っているのかという理由が知り



たいです。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） この社会福祉協議会の関係費の減でございますが、ほぼほぼこれは社会福祉協議会の職員の人件費ということになっております。社会福祉協議会の職員の方が定年を迎えておやめになるということで、その方を再雇用するわけですけれども、その減額、人件費の減というところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） ちょっと確認をさせてください。95ページ、002、民生委員さんなんですけれども、これは本市においては現状は足りている状況でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 昨年の12月1日から新たな民生委員を迎えているというところではございます。定数を3名ほど増やして、今現定数は101名というところではありますが、まだ定数まで満たしてないということが現状でございます。今のところ5名ほど、現時点で5名欠員というところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、進みます。

それでは、96ページ、2目老人福祉費について質疑はありますか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、細目001老人福祉センター管理運営費の中の工事請負費496万円、これはどこを改修されるのでしょうか、お尋ねします。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 老人福祉センターの工事のほうですけれども、老朽化をしております、老人福祉センターのお風呂の改修、それから2階の空調機、それから太寿連さんの事務所の整備のほうに充てるようにしております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） 太寿連さんの事務所につきましては、これは要望があつて市が対応したということで認識しとってよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 委員さんおっしゃるとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） 所属団体がたくさんいらっしゃいますので、公正の観点から、そのあた

りの協議はされてあるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 今現在使われてある場所がかなり手狭でありまして、会議もできないぐらいの状態ということで、今後さらに高齢化が進む中、住み慣れた地域で自分らしく高齢者の皆さんが暮らしていくためにも、その地域の支援の担い手として太寿連さんに活躍していただきたいと考えております。その活動拠点として充実させるものでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 004敬老事業関係費なんですけど、敬老祝い金、これは昨年内訳を伺ったんですけども、今年も88歳、99歳、100歳、合計509名でしたね。去年はどういう内容だったのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 令和4年度という。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 昨年ですね。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） すみません、令和4年度の最終的な数字は今持ち合わせていないんですけども、今回は88歳が392名、それから99歳が45名、この方に対しては1万円相当のカタログギフト、そして100歳の方は今のところ37名ということで、こちらはまた2万円の現金のほうをお祝いとしてお持ちするようしております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 100歳の方が37名ですね。それで、カタログギフトを頂いて、皆さん商品を取られているかどうか、その辺の状況は分かりますか。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 今年度も9月になりましたら対象者の方のところにカタログギフトをお送りしまして、ご家族なりご本人様が見ていただいて申し込んでいただいて、その申込期限が、はがきが入っているんですけども、そちらが12月31日を締切りにしておりますので、それ以降お申込みがなかった方、今回は60名から70名ぐらいだったと思うんですけども、そちらのほうには市が指定しました綿毛布をお送りしまして、全員皆さんのほうにもう終わっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） それと、もう一点いいですか。その下の005老人クラブ関係費なんですけど、243万円。これは当初予算説明資料の16ページに説明が書いてありますけれども、単位ク

クラブで一律5万1,840円でしたよね。これを会員数ごとにそれぞれ段階をつけて差をつける  
と、金額を、補助金を。この構想というのはもう実際にできているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 今まで、橋本委員さんおっしゃられますとおり、単位クラブごと  
に一律で5万1,840円の補助でございましたが、会員数に応じて、49名以下の団体さんは5万  
1,840円のまま、それから50名から74名のところに5万6,840円、75人から99人までは6万  
1,840円、100人以上のところには6万6,840円と5,000円ずつアップさせて、地域で活動される  
高齢者の拡充を図っていきたくて考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 関連してなんですけれども、五条区でいえば太寿連に入っているところ  
と入っていない単位クラブとあるんですが、ここら辺の支援の仕方というのがどうなっている  
のかよく分からないところもあるんですが、今太寿連に入っていらっしゃるところと入って  
ないクラブとどのくらいな感じなのでしょうか、44自治会の中で。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 自治会は44あるんですけれども、今小島委員さんがおっしゃった  
とおり、五条でしたら2つあるんですね、やっぱり人口が多いからですね。もう老人クラブ自  
体がないという自治会もございます。今太寿連に加入されてある老人クラブは22団体でござい  
ます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 22団体の太寿連さんが事務所をこの老人福祉センターの中に構えてあ  
るということなんです、これ鍵は誰が管理されて、何時から何時までとかという利用の状況  
のやり取りというのはどんなふうになっているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 事務所の鍵は会長さんがお持ちになってあります。開館時間です  
ね、今は10時からなんですけれども、それから夕方までいらっしゃってあります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） これは契約行為ではなくて、個々で使っていただいているという考え  
方でいいんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） おっしゃられるとおりです。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

じゃあ、船越委員。

○委員（船越隆之委員） 先ほどの老人福祉センターの管理費の中の14節ですかね、工事請負費の

中で、これが太寿連さんのための事務所改修費というふう聞いたんですけども、であれば、このために使用料というのは幾らぐらいもらっているんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 今使っているお部屋のほうは、もともとあちらが社会福祉協議会も一緒に入った建物で、管理人さんがお住まいになってあったお部屋で、窓とかも小さくなくて、ちょっと物置みたいになっているところに入っているから、今のところその使用料というのはいただいておりません。今後改修しまして、その後、また太寿連さんとも話し合って、使用料をいただいていく方向で進めていきたいと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） そういう物置のところという形ですけども、一応公共の施設ですよ。ということは、やっぱり使用料を幾らかでも安くても取らんといかんのかなとは思いますが。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 回答はいいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に進みます。

98ページ、3目障がい者対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、4目障がい者自立支援費について質疑はありませんか。100ページ、次の102ページまでですね。

よろしいですかね。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 101ページなんですけれども、移動支援事業委託料に入るのかな、日中一時支援事業委託料に入るのかな。移動支援の時間が、月の限度が25時間ですかね、太宰府市は。福岡市あたりは40時間なんですというお声をいただいたんですが、これは大体、筑紫地域は同じ時間ぐらいで設定されているものなのではないでしょうか、ちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 月の上限時間というのは、筑紫地区である程度決めているところがございます。25時間というところで決めているところではございますが、個々の障がいの状況ですね、それは個別に変わってきますので、要相談を受けながら延ばしたりということもやっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ありがとうございます。移動の内容、外で活動が、コロナ禍が終わっ

て少し外に出るといふようなことが増えてきたといふようなこととか、あと就労に結びつけよ  
うとすれば、若干でも、生活保護の方でも差額はB型とかで就労しようとかといふような方  
とかが毎日行けば、25時間すぐなるしといふお声もありまして、福岡市との差がそんなに違  
うのかなといふのもちょっと若干あったんですが、この辺の状況はまた検討の余地があるかな  
と思います。

もう一つ聞きたいのが、18節負担金の中のサービス利用者負担助成金で、これは新しい事業  
だと思ふんですが、金額は相当安くて、30万円ぐらいですかね。これは、すみません、もう一  
回ちょっと説明いただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） これは……。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） レスパイトじゃなかったですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） すみません、ちょっと後ほど。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） この30万円じゃなくて、36万円の計上の分ですね。レスパイトケアの  
事業の内容をもうちょっと説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 103ページの上のほうでございますね、医療的ケア児の……。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、これ違いますね。

○委員長（陶山良尚委員） いや、いいですよ、今。大丈夫ですよ。103ページでしょう。大丈夫  
です。

福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 医療的ケア児等の在宅レスパイト助成金ということで、36万円を計上さ  
せていただいております。これは新規でございまして、医療的ケア児、者も含めたところでは  
ありますが、在宅で介護されてあるご家族の方に休息を取っていただく分ということで、この  
助成金を新設しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 103ページ、004の障がい児通所支援給付費についてですけれども、昨年  
度に比べてまた1億4,000万円ぐらい上乗せになっているんですけれども、利用する子が増え  
たのか、時間が増えたのかというのが1つと、あと、この財源なんですけれども、国と県が見  
ていると思うんですが、ちょっとどこにあるのかというのは、歳入を聞いてもいいですか。

○委員長（陶山良尚委員） はいはい。

○委員（神武 綾委員） そこをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 障がい児の通所の分でございますが、対象児童が増えているというのは大きな要因の一つでございますし、あと事業所でございますね、こういった障がい児を支援する事業所の数も増えてきているというのが大きな要因かなというふうには思っております。

次のそれから歳入のところでございますが、国のほうが2分の1、それから県が4分の1の補助でございます。ページ数で申し上げますと33ページでございます。15款国庫支出金の中の民生費国庫負担金でございます。その障がい児通所支援給付費2分の1がございまして、併せて県のほうでございますが、ページ数で言いますと39ページでございます。16款県支出金の民生費県負担金、障がい児通所支援給付費に含まれております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 国が3億4,000万円、県が1億7,000万円補助しているということですが、この通所支援の給付費については、国の方針としてはこれからどうなっていくのか、何か変わることがあるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 制度自体は、国の児童福祉法に基づいた支援制度ということになっております。この分がどういうふう動きがあるかというのは、私どもちょっと情報を把握しておりませんが、ただ、放課後等デイサービスの内容について精査をするというような動きがあるというふうには聞いております。具体的な通知はまだあっておりません。

以上でございます。

○委員（神武 綾委員） 分かりました。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 申し訳ない。101ページの12節委託料の中に福祉タクシーの運営委託料というのがあるんですが、これはタクシーチケットなんですけれども、結構余ってしまった、使い勝手があまりなくてとかおっしゃる方もたくさんいたり、タクシーが今つかまらないとか様々もあつたりもするんですが、このタクシーのチケットの使い方というのは、例えば在宅で介護されている家族が使うとか、薬を取りに行くとか、そういったことには使えないわけですかね。本人さんだけという形になっているんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 基本的にはご本人ということになっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかによろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは続きまして、5目援護関係費、6目重度障がい者医療対策費までについて質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、7目ひとり親家庭等医療対策費、続いて8目後期高齢者医療費、次のページまでですね、について質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) 後期高齢者医療費のところですけども、基金からの繰り出しを1億円かな、増やして今年は財源に充てているようですけども、これは市が独自で使うようなお金というわけではないんでしょうけれども、財源についての考え方、どのようにして配分しているのかというのをお聞かせください。

○委員長(陶山良尚委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(山口辰男) ご質問は、県支出金のところだとは思いますが、こちらのほうにつきましては県からの支出金でございまして、予算書的には38ページ、39ページになりますが、こちらの民生費県負担金の中の保険基盤安定制度負担金ということで、後期高齢者医療基盤安定制度負担金1億6,126万2,000円ということで、一応こちらのほうについては法定の繰り出しということで、こちらのほうは県の広域連合のほうからこの額を算定して通知があるものでございます。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) 笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) すみません、1つ言葉を入れ忘れていたんで、地域福祉基金のほうから1億円、昨年より多く繰り出して財源に充てている形になっているかと思うんですけども、この8目がですね。一般財源のほうを6,000万円かな、4,000万円かな、ほど減らしているんですけども、その割り振りの仕方についての考え方のようなものをお聞かせ願えれば。

○委員長(陶山良尚委員) 経営企画課長。

○経営企画課長(轟 貴之) まず、地域福祉基金につきましては、まず目的としまして、高齢者等の保健福祉の増進を図るために設置した基金でございますので、こちらの基金を活用して後期高齢者医療費のほうに充当のほうをさせていただいている状況でございます。こちらにつきましては、その時々の方情に合わせ調整のほうを図っていくということで行っております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですかね。

笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) その時々の方情というのは分かるんですけども、昨年に比べて一般財源の割合が結構違うので、じゃあその状況の変化というのはどういうものがあったのかということをお尋ねしたかったんですけども。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） たしか笠利委員から、本予算ではなく補正のときとかもこの地域福祉基金の使い方とかいろいろご指摘いただいたと思っております。様々なそういった指摘を踏まえまして、我々はやっぱりこの本市の高齢化が進んでいる状況を見まして、やはり一定程度高齢者に対する支出が増えておりますので、そういった実態に合わせて、こういった額もこれまで見ていたような前提をちょっと修正いたしまして、ここにも地域福祉基金を多く充てるように考えたところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） じゃあ、来年どうなるかまでははっきりしないにしても、少し財源としてはそっちにしていく方向の議論をした上での判断だということですね。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） 基本的に委員のおっしゃるような方向性でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、9目国民年金費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、10目人権政策費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 107ページ、003の地域対策費、扶助費の老人医療費と介護サービス費についてですけれども、以前から質問させていただいていますけれども、審査資料の5ページで利用者の人数と額とを出していただいているんですけれども、令和5年度の見込みで老人医療費が、人数は変わってないんですけれども100万円ほど増えるということで、それはどういう積算になっているのかということと、それから介護サービス費については、ここ2年間、95歳までの方は利用額ゼロなので、96歳から100歳の方で一人なのかな、ちょっと人数は分かりませんが、48万円というふうになっていますが、この95歳までのこの介護サービスの枠をもう外してしまってもいいのではないかというふうに思いますけれども、その点は何か検討されていますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） まず、1点目の老人医療費、介護サービス費の令和5年度の見込みでございますが、こちらは令和4年度の実績、令和4年度も決算見込みになるんですが、この人数で令和4年度の額を案分をいたしまして、現在の予算の計上どおり、老人医療費180万円、介護サービス費48万円ということで計上しているところでございます。

それから、2点目の介護サービス費につきましては、今利用されているのが、介護保険施設に入っている1名ということになりますが、こちらはこの予算審査資料にも記載しているとお



り、対象年齢が毎年度1歳ずつ引上げということで、現在令和4年度で81歳、令和5年度は82歳に引き上げる協議が調っておりますが、この内容も介護サービス費に適用しますので、仮に82歳の方が介護保険施設に入りまして申請が出た場合には、支出する可能性がございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） すみません、その老人医療費なんですけれども、100万円増えているというのは、ちょっともう一回説明いいですか。ちょっと理解できなかったんですけれども。令和4年度の実績が80万円で、令和5年度は人数変わらないけれども100万円増えるというのはというところでいかがでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） こちらは令和4年度も老人医療費180万円、それから介護サービス費48万円ということで予算を計上しておりますので、その同額をまた令和5年度も計上しているところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 予算額でということですね。決算額じゃなくてということですね。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） 委員お見込みのとおりでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） すみません、105ページ、002人権啓発費の7節報償費のところなんですけれども、要約筆記謝礼というのは、これはプロの方に頼まれているんですかね、ボランティアの方に頼まれているんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） こちらは福岡県聴覚障がい者協会、プロの方に依頼するという前提で予算を計上しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） すみません、これまで何度か人権系の講演会に参加させていただいたんですけれども、要約筆記というと、画面に出ている分だと思ってしまうんですけれども、ちょっとしゃべられていることの内容と書かれている内容が結構意味の違うような形に表示されていることが多々あったので、その辺もちょっとチェックしていただければと思います。これは要望です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、11目人権センター費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) 今の11目のところですけれども、001も002も003も14節の施設改修が入っていると思いますけれども、簡単にどんな改修が必要になったかということだけお聞かせいただければ。

○委員長(陶山良尚委員) 人権政策課長。

○人権政策課長(河野貴之) まず、001南隣保館管理運営費の施設改修につきましては、1階調理室と2階大会議室の空調機の更新でございます。それから、002の南児童館も同様に空調機の更新でございます。それから、003の南体育館につきましては、サッシ窓の改修でございます。

以上です。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですかね

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、次に行きます。

108ページ、3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目児童措置費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、110ページ、3目教育・保育施設費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員(小島真由美委員) 111ページの下から、14節工事請負費ですね。まだ建物は新しいと思うんですが、これは何の予定か、何か予定があるんですかね、内容的には。

○委員長(陶山良尚委員) 保育児童課長。

○保育児童課長(伊藤健一) 施設改修工事の257万7,000円の件でよろしいですかね。すみません、こちらが市立保育所管理運営費ということで、南保育所も予算化しております。その中で、南保育所の空調機の更新あたりを予算化させていただいております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにありませんか。

そしたら、長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 保育所等におけるICT化推進事業補助金なのですが、これは認可保育所全てでしょうか、それとも市立保育所だけですか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 補助制度としましては、市立保育所も対象になります。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） すみません、ごじょう保育所の正規職員の方の人数は何名ですか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） ごじょう保育所ですが、令和5年3月1日現在で、所長を含みまして正規職員が33名、フルタイム、パートタイムを合わせまして32名、合計65名ということになっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 予算審査資料の8ページなんですけれども、ごじょう保育所にかけてあるフルタイム保育士の方が16名、栄養士が1名、看護師が2名、調理員が4名、用務員が1名ということで、フルタイムの方が23名程度、それ以外にもパートの方もいらっしゃるんですけども、あまりにもフルタイムの方が多いような気がするんですけども、非常に今、保育士不足も言われている中で、国のほうも会計年度任用職員の方の給与も上げてきている状態で、一昔前は学校の教員も講師で正規採用を抑えて、結果的に担任がいらないというようなこともあって、やはりそういう意味では、今後正規の方をもう少し増やさないと、あまりにも、このままだと3年後、5年後どうなるかなと心配なんですよ。できれば今後、要望ですけども、正規の方を保育士の方を増やしていただけるように要望したいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 予算審査資料の7ページで、保育園の入所の今の定員数と児童数の表を頂いたんですけども、今待機児ゼロに向かって、保育園が増えたり、新設ですね、それから増設も増えて、定員数も増えているというところで取り組んであると思うんですけども、認可保育園の定員に対しての入所児童数が2割増しまで可能だということで、事業者さんも努力されて協力していただいているところと思うんですけども、待機児はゼロになるけれども、保育園の園での保育の質を守るというところでは、入所している児童数をやっぱり定員数に近づける、戻していくということが必要だと思うんですけども、そこら辺は方向性としては、待機児ゼロになったらそっちの方にシフトしていくような方針はあるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） おっしゃるとおり、今平均で大体107%ぐらいの定員に対しまして入所の受入れをお願いしているところなんですけれども、おっしゃるように保育の質とかとい

う点からすれば、余裕を持った受入れというのが最も望ましいことかとは思っております。

おっしゃるとおり、一方では保育士の確保とかという問題もございますので、併せまして待機児童の今解消に注力しておりますが、その辺も含めていろいろ取り組んでいきたいということと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 113ページの005保育施設運営支援費の18節の中の、今まで届出保育施設さんには全く支援金、補助金とかは入ってなくて、職員さんとか子どもさんたちの健診の補助金が入りだして、昨今待機児童支援補助金と届出保育施設運営支援補助金というのが400万円ぐらいに大きく急に入り始めました。これはもう本当に届出保育所さんからしたらありがたいお話ということです。

なんです、これは他市と考えると、これは要するに今までなかった、ゼロだったものが400万円入ってくる形になるんですが、これは予算的には恒常的な形で考えてあるような予算立てになるのか、コロナ禍、待機児童が今大変だからというような臨時的な考え方なのか、ちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 届出保育施設につきましては、待機児童の受皿というようなこともございます。これはたしか令和3年度から始めたんじゃないかと思いますが、今後の方針につきましては、また待機児童の推移を見ながら考えていきたいと思っております。明らかな方針とかということは、今立てている段階ではございません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ゼロだったものが急に数百万円の金額の予算がつき始めたので、これをゼロにまた戻すとなると、大きなまたハレーションが起きますし、この辺の考え方が非常に難しくなってくると思いますけれども、できるだけ届出保育所さんの質自体は私はしっかりあると思っておりますし、どちらかといったら届出保育所さんを今無償化ということで選ぶという方たちも増えてくるという状況がありますので、質の安定と一緒に、この件もしっかりと協議していただけたらと思います。これは要望で結構です。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） すみません、今現在、星ヶ丘保育園は定員が150名なんですね。最近建て替えが行われているんですけども、市のほうで定員が何名になるとか把握されていませんか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 星ヶ丘保育園の建て替えに伴います定員増は30名ということで、そういうことですね。

- 委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、4目学童保育所費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、5目子ども医療対策費について質疑はありませんか。次のページまでですね。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、6目家庭児童対策費について質疑はありませんか。  
木村副委員長。
- 副委員長（木村彰人委員） 117ページ、これ説明資料のほうは15ページです。15ページの上のほう、子どもの居場所づくり・シングルマザー支援事業です。これ、予算としては1,650万2,000円。本事業はNPO法人と連携しということなんですけれども、これは委託の内容が非常に難しいところで、これ業者の選定についてどういう方法で業者を選定する予定なのかをご説明ください。
- 委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長（松田勝実） こちらのNPO法人等を選定する必要がございますけれども、こちらのほうは、まず提案を受けるというような形でプロポーザル等を実施して選考していきたいというふうに思っております。  
以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。  
神武委員。
- 委員（神武 綾委員） 今の関連ですけれども、予算説明資料の15ページの事業内容の中で、今課長がおっしゃった、本事業はNPO法人と連携しと書いてあって、そして事業の内容があるんですけれども、これNPO法人、今プロポーザルっておっしゃいましたかね、選定方針。これからということでしたけれども、これは複数ないとプロポーザルにならないと思うんですけれども、この書き方だとNPO法人、もうどこか決まっているのかなとちょっと思うんですけれども、その点は、このNPO法人と連携しというのは、NPO法人格を持った事業者さんをお願いしたいと、社会福祉法人とかではなくてというような意味合いなんですか。
- 委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長（松田勝実） NPO法人もしくは社会福祉法人ということで、どちらかに限定するようなものではございません。  
以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 神武委員。
- 委員（神武 綾委員） それと、この事業の内容なんですけれども、学習のサポート、それから

進路相談、食事の提供というふうを書いてあって、子ども、家庭の状況をアセスメントするというようなところで、すごく事業としては大きいんですね。今、行政の中でも分担してやっているところだと思うんですけども、それを一法人、一事業者にお願いするということは、相当行政も連携していかないと、その法人さんが独自で進めてしまうということにもなりかねないかなというふうに思うんです。中身自体がすごくナーバスなことなども関わってくるので、そこら辺の連携が、これは子育て支援課というふうになっていきますけれども、どんなふうな柱立てになるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（松田勝実） 今、子育て支援課のほうでございますけれども、令和5年から子ども家庭センターというところで設置していくというふうになっておりまして、母子保健と児童福祉の部分、児童福祉も給付以外のところに関わる部分ということで、サービスのほうを強化していくというようなことになっております。そちらと密接な連携を行いながら、NPO法人、また社会福祉法人に決定されたところの法人さんと細かな連携を行って、運営をいきたいというふうに思っているところです。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 物すごく大事な事業だと思うんです。必要だと思いますので、ぜひ関係課と、いろいろな相談事業もありますので、先ほどの女性相談もそうですけれども、何かそういうところとやっぱり緊密に連携を取って進めていただきたいなと思います。要望です。

○委員長（陶山良尚委員） 要望ですね。分かりました。

よろしいですかね。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 私もちよっと神武委員に付け加えなんですけれども、同じところですね。やっぱり不登校児童、虐待児童とかシングルマザー支援事業というそのもの自体がすごくちよっと曖昧というか、どこまでの支援かという、先日私がお話したレスパイト的なものも将来的には受け入れますみたいな感じのご返答をいただいたんですけども、もちろん連携、NPO法人さんと行政としっかり話し合いというのも必要なんですけども、あまりにも多岐にわたるのであれば、ちよっと広げてあるなという感があるんですけども、まずできるものからというか、整理をしていただけたらというのが、ちよっとご要望でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目学童保育所費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5目子ども医療対策費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、114ページ、6目家庭児童対策費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、116ページの3項生活保護費、1目生活保護総務費、次のページまでですね、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目扶助費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4項災害救助費、1目災害救助費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、120ページ、4款衛生費に入ります。

○委員（小島真由美委員） 保健衛生総務費はもう終わりましたか。

○委員長（陶山良尚委員） 今からです。

それでは、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 121ページの004保健センター管理運営費の中の予算立てをちょっと見たんですけども、これは課長に聞いていいかどうか分からないんですが、ここで働かれる方は今、約25名でよろしかったでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） そうですね、それはそうでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） この保健センターのレイアウトとか働く環境をよくしてあげないといけないなと思っていて、ここは改修費も全然入ってはもちろんですけれども、窓口対応が随分、元気づくりポイントもそうですし、今回のアピアランスケアもそうですし、窓口対応がこれからももっと増えてくるし、25人の方たちが結構ひしめき合って事務所の中にいらっしやる感がありまして、閉鎖的な感じもありまして、ちょっと受付が狭いし、ガラス越しですしというところもあるので、この保健センターをもっとオープンに、もっと働きやすい環境にしていけないといけないと思いますけれども、この保健センター改修とかの今のところ検討とかはあるのかなのか、これは部長に聞いたほうがいいんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（川谷 豊） ご指摘ありがとうございます。私も同様にそういうふうに思っております。全体計画の中で、保健センター以外の部署も含めて、執務室をどうしていくのかを考慮してまいりたいというふうに思っております。

以上です。

- 委員長（陶山良尚委員） 小島委員。
- 委員（小島真由美委員） 保健センターは今、基幹拠点としてかなりウエートを置かれまして、もっと人を増やさないと事業が継続できない状況ですし、もっと垣根が低い、庁舎1階のようなオープンな相談窓口の設定をお願いしたいということで、市長のほうにお伝えください。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、122ページ、2目保健予防費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、124ページ、3目母子保健費について質疑はありませんか。次のページまでですね。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、126ページ、4目環境衛生費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、128ページ、5目公害対策費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 続けて、6目環境管理費について質疑はありませんか。  
笠利委員。
- 委員（笠利 毅委員） 129ページの002地球温暖化対策費の800万円の補助金ですけれども、予算審査資料の一番最後かな、地球温暖化対策推進補助金800万円、ほぼ昨年使い切っているようなんですけれども、これ単独の事業だったかと思うんですけれども、増額を検討するとかというふうなことはなかったのかどうか、お聞かせ願えれば。
- 委員長（陶山良尚委員） 環境課長。
- 環境課長（高野浩二） すみません、ちょっと最後のほうが聞き取りにくかったので、もう一度よろしいですか。申し訳ありません。
- 委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。
- 委員（笠利 毅委員） これ、太陽光パネルでしたっけね。
- 委員長（陶山良尚委員） 環境課長。
- 環境課長（高野浩二） 太陽光発電システムのことですか。
- 委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。
- 委員（笠利 毅委員） それの補助でしたよね。
- 委員長（陶山良尚委員） 環境課長。
- 環境課長（高野浩二） そうです。



○委員長（陶山良尚委員） それについての質疑でいいですか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ちょっと待ってくださいね。見間違えたのかな。

じゃあ、もう単純化して聞こう。昨年と金額が変わってなかったかと思うんですけども、増額していく方向性とかそういうようなことは考えなかったのか、実績を基に説明していただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） 令和4年度の実績については、予算審査資料のほうに記載させていただいているんですけども、今回、今年度については、9月あたりまで半分、400万円というところを使っています、来年度も同等というところで、実績に基づいて800万円というところで予算を計上させていただいたというところです。

○委員（笠利 毅委員） 分かりました。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 関連しまして、これは1件当たりが10万円とか20万円とか5万円とか結構大きいんですけども、しかしながら、これ予算には限界があるので、限りなくこれ補助することはできないのは理解しています。けれどもこれ、地球温暖化対策に対してのこの基金の推進ですね、普及推進はすごくいいことなんで、ちなみにこれ、検証というんですかね、補助された後のそのアンケートなりモニターなりとか、そういうことはなさっているんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） 補助金を出した方については、今後2年間の実績というか、そういうのを出していただくようにはしております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、ここで13時まで休憩いたします。

休憩 午後0時12分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後1時00分

○委員長（陶山良尚委員） それでは再開します。

130ページ、4款衛生費、2項清掃費、1目清掃総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目塵芥処理費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは次のページ、3目し尿処理費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3項上水道費、1目上水道事業費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、134ページ、5款労働費に入ります。

1項労働諸費、1目労働諸費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、6款農林水産業費に入ります。

1項農業費、1目農業委員会費について質疑はありませんか。

タコスキッド委員。

○委員(タコスキッド委員) すみません、ちょっと戻って、シルバー人材センターのところいいですか。

○委員長(陶山良尚委員) はいはい、許可します。

○委員(タコスキッド委員) すみません。労働費001シルバー人材センター関係費で予算が上がっているんですけども、インボイスの関係とかでシルバー人材センターのことが関係が出てくると思うんですけども、そこは今のところ進捗があれば教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 福祉課長。

○福祉課長(井本正彦) インボイスの関係でございますが、今年の10月からということになっておりますが、まだ今のところ具体的な動きというものはございません。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) いいですか。

じゃあ、それでは農業委員会費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目農業総務費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3目農業振興費、次のページまでですね、質疑はありませんか。

堺委員。

○委員(堺剛委員) すみません、12節の委託料の有害鳥獣駆除委託料のところなんですけれども、イノシシ、アライグマ等鳥獣被害の状況について概況をお示してください。

○委員長(陶山良尚委員) 産業振興課長。

○産業振興課長(満崎哲也) 今年度といいますか、イノシシの今捕獲頭数でございますが、400頭を超えている数になっております。それから、アライグマで29頭、鹿で27頭、以上でござ

ございます。

○委員長（陶山良尚委員） 塚委員。

○委員（塚 剛委員） この数は増加傾向にあると思いますが、このあたりの対策、対応等は何  
か検討されていますか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 今現在、イノシシにつきましては箱わなを主に市内100か所に設置  
しております。また、内山のほうでは一部くくりわなというところで、非常に多く捕獲ができ  
ているという実績があるというふうに聞いております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 塚委員。

○委員（塚 剛委員） 市民からのお問合せ等で事故、事件等は発生してないということによ  
りですか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 農作物の被害ということで、その辺のご相談はあっております、  
今年度からメッシュ柵の購入費の2分の1の補助ということをやっております。市民からの野  
生生物に襲われたとかというご相談とかそういった情報については、今年度はあってございま  
せん。

○委員長（陶山良尚委員） それじゃあ、森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 関連でございます。先ほどメッシュ網の話、柵の話がちょっと出ており  
ましたけれども、100万円の予算を今回立てられておりますけれども、ちょっと計算してみ  
て、立てつけ2分の1の補助で上限10万円というたしかお話だったと思いますけれども、これ  
だと間に合わないんじゃないかという気がちょっとしたんですけれども、もしそれをオーバー  
した場合の先の計画については、何か手当てはございますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 昨年同様、100万円という予算を計上させていただいております。  
この分に関しましては、一応実績に基づきまして予算の要求という形を取らせていただいておりますが、年内、昨年末でその補助に達したということございまして、今後につきましては、4月以降のこの補助が始まってからの推移を見ながら、補正予算等の計上等をお願いする  
というようなことも検討してまいりたいというふうに思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。いいですか。

よろしいですかね、そしたら。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 続いて、4目都市近郊農業推進費について質疑はありますか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 12節委託料の市民農園なんですけれども、これは今抽せんになる感じ

での利用なのか、また市民農園自体増やすおつもりがないのか、現状維持ということでの委託料として考えるのか、教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 市民農園でございますが、現在市内に3地区、3つの地区合計で8か所に設置しております、区画的には199区画ございます。それで、そのうち174区画ご利用をいただいているという状況でございます。毎年この時期に契約の更新等の受付を行っております、もう既にやめられる方、それから新たにされたい方というところで、今のところ相殺ができていたような状況でございます、市民農園の空き待ちということでございます、どうしても地区ごとにこの地区でなければという方も中にはいらっしやいまして、その方が今のところ5名ほどいらっしやるといってございまして、今の現状維持ということで、今の段階ではこれ以上増やすというようなところは持ち合わせていないというのが状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは続きまして、5目農地費について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 12節の委託料の工事設計監理等委託料1億850万円についているんですけども、この内容についてお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 工事設計監理等委託料1億850万円につきまして説明いたします。

この内訳につきましては、一番大きなウエートを占めているのが、ため池の劣化状況評価委託及び耐震診断業務委託になっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） いいです、ごめんなさい。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、138ページ、2項林業費、1目林業振興費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目林業管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、3目緑地推進費について質疑はありま

せんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、7款商工費に入ります。

1項商工費、1目商工総務費について質疑はありませんか。

馬場委員。

○委員(馬場礼子委員) 142ページ、女性を中心とする創業塾。

○委員長(陶山良尚委員) ちょっと待って、まだ。まだ1目。

○委員(馬場礼子委員) すみません。

○委員長(陶山良尚委員) じゃあ、後でまたいいですか。

それでは、1目についてありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目商工振興費について質疑はありませんか。

馬場委員。

○委員(馬場礼子委員) 申し訳ありません。先ほどの142ページの女性を中心とする創業塾補助金、これ前年度は支援件数ってどれぐらいあったんでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 産業振興課長。

○産業振興課長(満崎哲也) 女性を中心とした創業塾補助金でございますが、こちらは商工会のほうが開催いたしました創業塾、そちらのほうへの補助金でございます。件数としましては1件でございますが、受講者につきましては35名ほどいらっしゃっております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) いいですか。

長谷川委員。

○委員(長谷川公成委員) ちょっとどこにも載ってなかったけん、プレミアム商品券なんですけれども、これは市の当初予算にないんですが、県の動向を見ながらという形でいいんですかね、認識としては。

○委員長(陶山良尚委員) 産業振興課長。

○産業振興課長(満崎哲也) プレミアム付商品券でございますが、ここ数年、コロナ交付金という形でそちらの財源として計上させていただいております。今年度につきましては、今後の国の経済対策等を注視しながら予算計上のほうを検討してまいりたいと、そのように考えております。

以上でございます。

○委員(長谷川公成委員) 分かりました。ありがとうございます。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにはありませんか。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) すみません、ちょっと確認なんですけれども、今馬場委員が言われた負

担金、補助金のところの創業塾とかありますけれども、商工会がしている事業に補助金を出しているという分はどれが当たるのか教えていただけますか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 141ページでいいますと、18節のまず商工会補助金1,500万円、それから創業者支援補助金の300万円、がんばる中小企業応援事業補助金の200万円、商工会体制強化補助金の100万円、それから先ほど申しました143ページの女性を中心とした創業塾補助金、以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、142ページ、3目消費者行政費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目観光費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 18節の負担金の門前町フラッグ等、この補助金というのは、これは門前町観光協会のほうのあれになるのでしょうか。これは特化した何か、イベントか何かが行われるということなんでしょうかね。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） こちらにつきましては、九州国立博物館の特別展をメインに掲示をさせていただいております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） それから、すみません、145ページの委託料の中に、毎回この滞留型観光プログラムだとか滞留時間の調査とか、私を知る限り、この滞留時間とかというのはもう相当、10年ぐらい調べていると思うんですけども、これはどこが到着点になるのかよく分からないんですけども、毎年蓄積していつているのか、違うところの視点でこの滞留時間の調査が行われているのか、内容が、結構毎年300万円近くの予算がつくんですけども、なかなか分かりづらいんですが、すみませんが説明をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） こちらの調査につきましては、主には観光基本計画の基礎データを取るための調査ということになっております。よろしいですか。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） これはある程度もう蓄積されてきていると考えとっていいんですか。

大体何年分取られていますか。これで何年ぐらいたちますかね、これし始めて。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） 毎年取らせていただいております、これまでは観光推進基本計画が今年度でちょうど満期といたしますか、終了いたしますので、今のところ5年分はきっちりと保存しております。令和6年に観光基本計画のほうが更新いたしますので、そちらのほうに大きく反映をさせたいというふうに思っております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） これは前聞いたとき、1日か2日ぐらいの調査だったと思ったんですけども、これは大体何日間分ぐらいの調査なんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） 各回3日間の調査を年に3回繰り返しております。このコロナ禍におきましては、なかなか調査ができなかった年もございますが、今後はまたご指摘のとおり調査方法等も見直しながら、計画を進めてまいりたいというふうに考えております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

そしたら、一遍に挙がった。じゃあ前から、馬場委員から。

○委員（馬場礼子委員） 003、予算説明でもあるんですけども、観光客アンケート調査、観光施設整備費と観光事業推進費合わせて大体600万円、この調査方法、内容をもう少し詳しく教えてください。スマートフォンユーザーを対象とした観光アンケートを実施し、とかという。予算説明の分ですね、10ページの。申し訳ありません。600万円ほど計上されていますけれども、すみません、もうちょっと詳しく教えてもらえたらと思います。

○委員長（陶山良尚委員） どこですか、説明資料のほうですかね。の10ページ。

観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） こちらは大きく2つの調査方法を計画しております。1つ目につきましては、スマートフォンの位置情報とかで、スマートフォンの位置情報が取れるようなことを各メーカーさんのほうでご営業とかもしてございますので、こちらのほうのスマートフォンのユーザーさんのほうにアンケートを、ポイント還元とかをつけまして、そうすることによりましてアンケートの回収率がかなり高まるということで、スマートフォンのユーザーさん向けに1点、観光のアンケートを取るようしております。

そして、これまで、先ほどのご質疑にも関連いたしますが、外国人のアンケート調査がなかなか難しいところがございます、調査をした日にたくさんの外国人の旅行者が来ておりましたら、ちょっと隔たりがあるといいますか、調査のほうに。そういったことも踏まえて、市内

に幸いに留学生がたくさんおられますので、この留学生の方々をちょっとご協力を得まして、外国人目線のアンケート等を取りたいというふうに考えております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 留学生の方をということで、どのようにアンケートを取るのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） ちょっと詳細は、今、日本経済大学さんとかに留学生が特に多うございますが、そちらの留学生の方々を、もう母国に帰らずに学校の中で起業といいますか、留学生のOBたちが起業しておるといようなことを伺いまして、学校の先生方、教授の方々が取締役とか会社の役員とかに入られまして、そのようなアンケートとか特化したような企業があるということを聞いております。そちらの方々にお仕事としてもちょっと参入をしていただきまして、内容、詳細につきましてはこれから計画をいたしますが、そのような留学生のOBの方々のご協力の下、調査研究してまいりたいと思っております。

以上です。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、船越委員。

○委員（船越隆之委員） 141ページに戻っていいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 141ページ、商工費。

○委員（船越隆之委員） 商工会、商工観光費。

○委員長（陶山良尚委員） じゃあ、一応許可しましょう。

○委員（船越隆之委員） いいですか。18節の負担金のところですね。商工会体制強化補助金というのが100万円ついてますね。このちょっと内容を教えていただけますか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） こちらの体制強化の内容でございますが、これまではコロナの関係で国、県、それから市の様々な補助金、こちらのほうをお出しさせていただいております。その申請に係る相談とかそういったものが主でございましたが、今現在、やはり物価高ということもありまして、これに対するいろいろな支援とかということも今後出てくるということで、そういったところでの相談員の方を2名ほど任用するための人件費というところで考えられているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

そしたら、堺委員。

○委員（堺 剛委員） 145ページの18節の一番下のところの令和の万葉大茶会の件につきまして、1,400万円予算計上されていますが、この概況についてお示してください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。



○観光推進課長（池田哲也） こちらにつきましては、令和文化会議の令和5年度版として計画をしております。本年度、令和の万葉大茶会の当番市が回ってまいります。そちらの内容につきましては、「万葉集」編さん者とされる大伴家持ゆかりの地をつなぎ、元号令和の由来となった梅花の宴を茶会形式で再現するものでございます。昨年の開催地である鳥取県鳥取市からバトンを受け継ぎまして、令和5年度には実際に梅花の宴が開催されました本市において開催をする予定にしております。

以上となります。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） じゃあ、今から、これから企画的なものは打合せを今からされていくという方向性ですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） そのとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 004の太宰府館の管理運営費に関してのことなんですけれども、145ページ。

○委員長（陶山良尚委員） どうぞ。

○委員（笠利 毅委員） 145ページ、004太宰府館の管理運営費ですけれども、会計年度任用職員さんの事務員さんが1人増えているんですかね。そのことと、あと14節の工事請負費で539万円。どのようなことをされるかということ、その2点と、その2点が連動して何か考えられているのかというようなことをちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） 連動はしてはおりません。工事につきましては、高圧の受変電設備といたしますか、高圧気中開閉機器の更新と、舞台のリミットスイッチの取替えを予定しております。こちらについては改修事業ということで、計画的に行っております計画に基づいて計上させていただき予定としております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） 会計年度任用職員につきましては私からお答えさせていただきます。

太宰府館で再任用の職員が2人管理で現場に勤務しております。2人とも再任用が今年の3月で終了する予定ということで、今までのノウハウとかを継承するために、どちらかお一人は会計年度任用職員として再任用後も勤務していただくという計画で、会計年度任用職員をこちら計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） じゃあ、確認ですけれども、結果的に言えば体制強化というわけではな

いということですね。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） おっしゃるとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありますか。

先に橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 145ページの18節、レンタサイクル事業補助金、レンタサイクルの昨年の利用状況はどうだったんでしょう。コロナ禍で少ないかなとは思っているんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） 失礼いたしました。昨年度は747台の貸出しを行っております。やはり今ご質疑のとおり、コロナ禍でちょっと少ないような状況になっております。

以上となります。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） ありがとうございます。内容ですね、何台用意して、料金が幾らで、ルートはどうか、ちょっと説明をしていただけますか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） 台数につきましては合計14台配置をしております。うち、電動自転車11台、一般の自転車が3台ということになります。料金につきましては、電動が800円、普通自転車が500円となります。ルートにつきましては、ご自由に市内を散策していただけるような、ルートを特別に設けているような状況はございません。

以上となります。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） これからコロナも大分緩やかになっていきますし、春先で非常に利用する方が出てくると思うんですね。もう少しPRされたいかがかなと思います。これ、西鉄さんをお願いしている事業ですね。もう少しPRしていただければというふうに思いますが。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） 現在のところ、フルに全部自転車が出ていっているというようなこともございませんが、今後そのような状況が続きましたら、また増大ということも要望していきたいと思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） ありがとうございます。145ページ、003なんですけれども、12節委託料、混雑可視化システム委託料についてなんですけれども、私個人の感じでいうと、混雑しているからちょっとそこはやめとこうとか、回り道しようというのは、あまり太宰府の中では効果的ではないのかなと個人的に思うんですけれども、これは今後も継続して委託し続けられていくのか、その費用対効果とかを見ながら改善されていくのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） こちらの事業につきましては、令和3年12月に本議会のご承認を得て設置をさせていただいております。最大のコロナ禍の中、ご自宅とかを出る前に参道の混雑の状況を見ていただきまして、すいている時間に混雑を避けて出てきていただきたいという思いでつけております。こちらにつきましては、ご要望等も、参道の状況が全く見れないというふうなご要望も多くございまして、設置をさせていただいております関係もございまして、今後はこちらにつきましては、かなりのアクセス数もあっているということもございまして、続けてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、次に146ページ、8款土木費に入ります。

1項1目土木総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、148ページ、2項道路橋梁費、1目道路橋梁維持費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目道路橋梁新設改良費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、150ページの3目地域交通対策費について質疑はありませんか。

入江委員。

○委員（入江 寿委員） すみません、ちょっとお伺いしたいんですけども、この交通安全施設設置工事、街路灯整備工事の件でちょっとお伺いしたいんですけども、この街路灯、LEDに推進していきますというところで、防犯灯もそうだろうと思うんですけども、よく我々の自治会長様たちがよく口にしているのが、10か所を申請したら、今年は5か所でしたとか、よその地区は20か所申請したら8か所いただけましたとかという話をよく聞くんですよ。その中で大体この予算立ての中で、1か所当たり幾らぐらいというのはあれなんですけれども、大体年間何か所分ぐらいを予定を立てられて予算組みされているのかなと思って。ちょっとその点をお聞きしたいです。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 具体的には、やはり単独柱で立てられる部分もありますし、電球の球だけをLEDに替えるということもありますので、具体的に数量というのは実際に考えて予算立てはしてないような状況です。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、151ページの3目の001交通安全推進費の中の交通I Cカードの運転免許証自主返納者の数をまず教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 本日現在で自主返納された人数でございます。220名となっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） この方たちは、返納された後の生活形態と代替交通はどのようなことで、以前アンケートをお願いしていたと思うんですが、その後の状況とか把握されていますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 昨年度ご質問いただいておりましたその後の分については、すみません、実施はしておりませんが、返納時にアンケートを実施しております。返納いただいて支援の事業に申請をいただいている方から、n i m o c aカードをお渡しする際に、この事業に対するアンケートを取らせていただいております。その中で一番多いのは、やはり事故があったりとか、高齢になってご家族の方などから周囲から勧められたというものの回答、それと車をもう持っていないと返納される、この機会にというところで返納される方が一番あるというところの結果が出ております。これは毎年集計しておるんですけれども、もともと持ってないけれどもというところで返される方も圧倒的に多いというところで、その後どのようにされているかというのは、ちょっとすみません、アンケートなり追跡調査というのは行ってはおりません。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） ありがとうございます。そのアンケートの中に、今後どうされていくのかの項目を入れていただければと思います。要望です。

○委員長（陶山良尚委員） 要望ですね。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 1つは、堺さんの質問の続きのようなものなんですけれども、I Cカードを使い切ってしまうか、使わない人もいるかと思うんですけれども、その後も生活が長く続くので、足の問題というのは大切だと思うんですが、この同じ目のところで、地域公共交通計画、再来年度中に公表予定だったかと思っておりますけれども、免許を返納した人が、その後どうやって町なかを快適に過ごしていけるかというようなことを知っていくためにも、堺さんが言われたことはやったほうがいいんじゃないかというのが、それが1つと、あとそのような交通I Cカードとか様々なパスを地域公共交通計画の中でも組み込んで考えていこうというような心積もりといいますか、そういうのはあるのかどうかということをちょっとお聞きしたいと思

います。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（柴田義則） 今委員さんからご指摘いただきましたように、地域公共交通計画の策定の中で、今協議会は既に議論を始めておりますけれども、その中でもやはり公共交通の利用促進を今後またさらに伸ばしていくというのは、大きな課題として上がっていますので、まさに今からどういう施策がいいのかというのを、また議論を今ちょうど着手したところであります。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

じゃあ、馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） すみません。149ページに戻ってもいいですか。

○委員長（陶山良尚委員） どこですか。149ページ。

○委員（馬場礼子委員） はい、すみません。2目の001道路橋梁新設改良事業費のことで、道路改良工事1億1,550万円なんですけれども、私たちに、ここはがらっと今回この費用を使って変わりますよという道路工事ってありますか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） まず、道路改良工事につきましては、ここに計上している予算が都府楼大橋、観世音寺・長浜・太宰府線、これにつきましては、通古賀から朱雀大路の3号線の交差点に向けての4車線の道路なんですけれども、その橋梁工事の下部工といいますか下の部分、基礎部分のところの工事費になります。一応それだけを計上させていただいております。

といいますのも、3月議会、補正予算でちょっと計上させていただいたんですけれども、令和5年度の実績補助でやるところの補助金関係ですね、事業費を令和4年度に前倒しということで今回計上させておりますので、それと併せて工事をするということになります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

そしたら先、長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） ちょっと1つ確認させてください。当初予算説明資料の11ページで、151ページの渋滞対策費ですね。地域公共交通計画の策定とあるんですが、これ数年前にあった地域公共交通網形成計画の名称がただ変更になっただけの計画なんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（柴田義則） 今委員さんのご質問ですが、当初は地域公共交通網形成計画でありましたが、いろいろな法改正等によりまして、公共交通網だけではなくて、いろいろな路線の運賃等も含めて、かなり幅が広がった形で一応策定するような形で変わっております。

○委員長（陶山良尚委員） 門田委員。

○委員（門田直樹委員） すみません、ちょっと長くなると思うので、なるべく簡単にしたいんですが、ご両人の報告は受けているんですけども、記録に残したいと思うので、2目3目に関わることで、国分、坂本地区ですね、具体的には国分の三、四、五丁目ですね、坂本の一部に関して、非常に宅地開発が進んでいると。大規模な人口増が見込まれるわけで、しかしながら現状において大変な渋滞が朝夕発生しとるわけですよ。最近はもう朝夕に限らず、国分寺前交差点から国分自治会の公民館の先まで渋滞、あるいはもう坂本の交差点に至っては、あそこからどう回避しようかという協道に入る車がトラブルを起こしたりということは度々申してきましたんですが、この辺に関して、以前調査費がついと思ったと思うんですが、結果がもう出たのかどうか。

また、この辺の、あそこの健康センター跡地ですね、あるいは国分三丁目の開発等々も出来上がってきつつありますよね。そしてまた、今まで空き地がそのままになっていたのが、今あちこちで建っているんですよ。かなり増えてきている。そういうことで、ここの河川改修等を含めた、その辺も含めた将来的な展望というのがあれば、お聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 確かに坂本の今開発ということで、西鉄のほうで実際に行われておりますけれども、その関係も含めまして、新たな道路というのをやはり今後考えていかなければいけないと思っております。

ここには具体的にはちょっと上がっておりませんが、一応県道112号線に対しての測量に対して、接続に対して測量費を、ちょっとここには実際に具体的には項目は上げていませんけれども、やっといこうということで令和5年度は考えております。実際には、すみません、001の道路橋梁新設改良事業費の12節委託料、工事設計監理等委託料の中に測量費を入れております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかありませんかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、次に152ページ、8款土木費、3項河川費について、1目河川管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、4項都市計画費、1目都市計画総務費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 004都市計画事務費のうち、あえて言えば委託料の立地適正化計画に関することかなと思うんですけども、予算説明資料でいうと11ページ、あと施政方針で6ページにニュー太宰府構想というような下で書かれているところと関係してくると思うんですけど

ども、立地適正化計画の内容的に、ニュー太宰府構想のビジョンの下、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進めるため云々とあって、これはコンパクト・プラス・ネットワークというのが立地適正化計画なんですけれども、中心市街地の活性化ということについて施政方針では言及していて、中心市街地活性化検討業務委託料というのが昨年、一昨年と300万円前後ずつ続いていたのが、今年はないんですね。拠点に関する議論というのは、立地適正化計画でされてきた経緯があるかと思うので、一昨年、昨年の中心市街地活性化検討業務の結果が一定程度出ていると思いますけれども、それらが155ページ、もしくはさっきの151ページも関係すると思うんですけれども、どのように生かされていく形になっていくのかということのをちょっとお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（柴田義則） まず、令和2年度につきましては、ある程度五条周辺に絞った形での調査といたしますか、いろいろな状況調査を行ったんですが、令和3年度につきましては、太宰府市内の西鉄駅を含む、近隣市の境目も含むんですが、5駅の都市機能の調査を行っております。それぞれの駅にどのような都市機能があるかと。その中で、立地適正化計画の議論といたしますのが、都市計画審議会での議論を一時コロナ禍で中断しておりましたが、令和4年度から再開しましたので、その中で行いました都市機能も含めてその協議会の中で議論しまして、改めて今後策定していく都市機能誘導区域とか居住誘導区域の議論をさらに深めていきたいというふうには考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） それはそれとして理解いたしました。中心市街地のことが施政方針では今年もきちっと一段落書かれていたけれども、予算としてはなくなっていたので、どういう関係かという疑問なんですけれども、じゃあ施政方針で言うところの活性化については、今までの蓄積を踏まえて工夫していこうという趣旨だと考えればよろしいですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（柴田義則） 今回、代表質問のほうでも少し出ていたかと思いますが、今現在、ビジョン会議のほうで、その中心市街地の活性化につきましてもそのテーマで今ご議論をいただいているところです。なおかつ、若手職員を中心とした勉強会と、またあと庁内のほうでもいろいろなほかに横断的な勉強会を開催しております、その中で今いろいろな検討を行っておりますので、今後ビジョン会議のほうの取りまとめを受けた後に、今後必要な作業等が出ましたら、その時点でまた随時必要な調査、また委託等も検討してまいりたいというふうに考えております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかには。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） 同じく都市計画事務費の中で、バリアフリー基本方針検討協議会、これ

の構成内容とこの事業費の内容についてお示しをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（柴田義則） 今回、バリアフリーの基本方針の検討でございますが、こちらが今回、改正バリアフリー法に基づいて市のほうで今検討を進めておりますが、まず今、庁内での関係課によるいろいろなすり合わせと申しますか、そういうのから始めまして、まず規則を今後立ち上げまして、実際協議会規則を策定した上で、今後協議会を、予算資料にも記載しておりますようなメンバーで今検討しておりますが、立ち上げた後の費用弁償、報酬を今見込んでおるところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 塚委員。

○委員（塚 剛委員） 構成人員はどういう形になりますか。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（柴田義則） 申し上げます。よろしいですか。今現在、国がガイドラインを策定しておりまして、その中で市、あと施設の設置管理者、公安委員会、公共交通事業者、高齢者、障がい者、有識者等を予定しているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） 関連なんですけれども、特にバリアフリーとかというのが、いざ造って見たら、対応される方々が使いにくいということが多々ありますので、そこは慎重をお願いします。要望です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかはよろしいでしょうか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、2目公園事業費について質疑はありますか。  
入江委員。

○委員（入江 寿委員） この公園事業費の1億円なんですけれども、公園管理維持等の費用に関わってくると思うんですけれども、うちの住んでいる地区なんですけど、地元の方が公園がないから造ってくれ、造ってくれとずっと要望されて、やっと造っていただきました。けれども、今度は夏が来ると草がぼうぼう生えて、子どもは遊べないから草を刈ってくれと市役所に言っているということで、でもなかなか来てくれないというところなんですけど、専門的な器具が崩れたとかどうかなるというのは専門業者にお任せしていいとは思いますが、草を刈るぐらいだったら地元でできないですかとか、そういうことは言えないんでしょうかね、市役所的には。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 実は、すみません、ちょっと今手元に持ってないんで言えませんが、一応要綱的なものがありまして、公園につきましては地元のほうで草刈りとかそういうのはしていただくと。ただし、樹木関係の剪定関係につきましては市のほうで行うということで、実際問合せとかあった場合は、そのようにお答えをしているような状況です。



- 委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、156ページ、3目下水道事業費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、4目土地開発費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、8款土木費の5項住宅費、1目住宅管理費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、158ページ、9款消防費に入ります。  
1項消防費、1目常備消防費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、2目非常備消防費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、3目消防施設費について質疑はありませんか。  
笠利委員。ちょっとお待ちくださいね。じゃあどうぞ。
- 委員（笠利 毅委員） 14節の施設改修工事、これは公共施設の整備かと思うんですけども、213万7,000円、どんなことなのかを教えてくださいませんか。
- 委員長（陶山良尚委員） 消防施設費の。
- 委員（笠利 毅委員） 消防施設費、159ページ、14節工事請負費の施設改修工事。
- 委員長（陶山良尚委員） 施設改修工事ですね。  
防災安全課長。
- 防災安全課長（竹崎雄一郎） こちらにつきましては、建物火災が発生した際にサイレン吹鳴を行っております。市内に9か所ございます。そのうちの一つ、太宰府西小学校の屋上に設置していますモーターサイレンが老朽化しているため、こちらの取替えに係る費用でございます。  
以上です。
- 委員（笠利 毅委員） ありがとうございます。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、160ページですね。4目災害対策費について質疑はありませんか。  
馬場委員。
- 委員（馬場礼子委員） 002市内一斉避難訓練の100万円なんですけれども、詳しい内容を教えてください、中身ですね。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 今年度実施しました一斉避難訓練につきましても100万円の計上をさせていただいております、来年度の避難訓練につきまして、今後内容の精査を行って、今年の反省、改善点を盛り込んだ中で訓練を実施したいと考えておりますので、詳細な費用といたしますか、消耗品の費用というのは、今後一応検討していく予定といたしております。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） これちょっとご質問なんですけれども、地域によって、自治会によって、避難訓練の後に皆さん、お土産じゃないですけれども、備蓄品とかを頂いている、たくさんいただいている地区と、ペットボトル1本しかないところって、それは何かここからの費用ではないわけですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 今回、各自治会のほうに、市のほうの備蓄品で消費期限が迫っている備蓄品のほうを、参加者数が見込めないの、ある程度どれぐらいお見えかの予測をちょっと自治会のほうにさせていただいて、それプラスアルファぐらいの備蓄品のほうを各自治会のほうにお配りをさせていただいて、現場のほうで配布していただいたというところになっております。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ということは、やっぱり自治会によって全然、たくさんもらっているところともらってないところがあるんですけれども、平等じゃないよねという声もあったんですけれども、今後もそういうような備蓄品の消費期限によって、そういうような配布の仕方をされるんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 備蓄品の消費期限が迫っている、半年ぐらいになったものを、イベントがあつたりとか、例えば子ども食堂さんとかの要望があればお出しするような形で、ある程度、来年度の避難訓練についてもお出しをさせていただこうと思っております。

ただ、そこら辺の目安といいますか、できるだけ平均になるように、ちょっと今後検討をさせていただきたいと思っております。

○委員（馬場礼子委員） お願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 馬場さんの質問に関連しないわけではないんですけれども、多分多くの方が放送が聞こえなかったという反省点を、昨年の一斉避難訓練の後、耳にされていると思うんですね。私も1か所、2か所のみならず、そういう声を聞いたんですけれども、今年も続けてやるのであれば、そこは何かしらの手を打って臨んだほうがいいかと思うので、ちょっとここで予算が出ているのかどうかまではっきりしたことは分からないんですけれども、何かしら予算措置をして、ハードをよくするとか、何かしらの対応を取られるつもりなのかどうかをち

よっとお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 今回の避難訓練で一番多くいただいたご意見というのは、コミュニティ無線が聞こえづらかったというお声が一番多うございました。

ハード面についてなんですけれども、やはり空白地帯というのは、あらかじめ平面上というか、図面上では出てはおります。ただ、コミュニティ無線が屋外の放送ですので、気候や天候等によって大きく左右されるので、コミュニティ無線については一つの手段として、いつもお問合せがあった場合にはお願いをしているので、メールであるとかツイッター、LINE等と同じ情報を出しているんですよ。ただ、ご登録の数というのがなかなか、うちの努力も足りない部分もあるんですけれども、なかなか一気に伸びないというところもございます。

今後については、今回の訓練のちょっと1つの反省といたしまして、通常システムに入っ  
て、放送される文言というのはあらかじめシステムに入っているんですけれども、訓練です  
ので、録音でやって、そこでちょっといろいろ聞こえづらさもあったのか、それとあと自治会  
のボリュームの関係も、うちのほうも確認ができていなかったという反省もございませ  
う。そこら辺も含めて、事前にもう一度検証しながら、放送をかける場合には、そこら  
辺も含めて進めてまいりたいと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 確認ですけれども、ということは、昨年の反省を踏まえて、ソフトウェア的にというか、手順の問題として調整していくけれども、現時点では物理的な対策を予算をかけてするという予定にはなっていないということですね。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） そのとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部長。

○総務部長（山浦剛志） 今防災安全課長が申し上げましたが、放送につきまして、なかなかやはり聞きづらいというところを私も幾つかのところから聞いております。私ども、緊急時の連絡手段としては、放送だけではなくて、メールとか、あとテレビのほうでもdボタンという形で準備はしていますので、これは私どもからの要望ではございますが、議員の皆様方も、もし市民の方でそういうふうな方、言われる方がいらっしゃいましたら、恐れ入りますけれども、防災メールまもるくんとかV-netの登録をぜひ勧めていただきたいということをお願いいたします。もうそれしか今はないと思いますので、100%聞こえるようにというのはなかなか難しいと思いますので、そういったことを勧めていただけたら、非常に私どもも助かります。もちろん私どもも登録していただくようにどんどん啓発はしてまいりますので、よろしくお願  
いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） すみません、しつこいようですが、その分の確認で1点だけ、放送

があえて同じ内容を何度か一度にリピートされているんですかね。僕が家にいるときに、あ、聞こえづらいなと思って外に出たら、もう次が流れないみたいな感じのことがあったので、何回か同じのを流されているのか、1つの内容を1回で終わっているのかというのだけ確認させてください。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 通常、2回繰り返すように、放送するようにしております。

○委員長（陶山良尚委員） 森田委員。

○委員（森田正嗣委員） すみません、関連です。これはご提案です。実は、山口県の宇部市では、防災情報につまましてスリーウエー、3つの方法を取っているそうです。それは、1つは広報無線、1つはいわゆる固定電話。固定電話が作動するそうです。固定電話に直接情報が入るようにシステムをつくっている。もう一つは、防災ラジオといいまして、ラジオを起動させる。なかなかテレビとか、それからLINEという方法も多様な方法の一つかと思えますけれども、高齢者の方を少し射程の中に入れてくると、そういう方法もあるのではないかと思います。これはあくまでも要望でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） コミュニティ無線についてですけども、やっぱり今の話の内容というのはもうずっと言われていて、やり取りしていると思うんですよね。聞こえないとか聞きづらいとかというのが出ていて、改善します、点検しますという話なんですけれども、これコミュニティ無線自体をもうやめるとかというような話とかはあるんですか。もうやめてしまって、部長が言われるやり方にもうシフトしていくとか、そちらのほうでカバーしていきたいとかというような話とかにはなるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 必要性に関してですけども、今ミサイルの話であるとかいろいろな形で、国のほうはつけるようには推奨されております。手段が多いというのは、屋外にいる場合、それと今現在設置しているコミュニティ無線については、市役所とのやり取りができる無線の機能も有しておりますので、有事の際には活用できるというふうには考えております。

○委員長（陶山良尚委員） ちょっと防災無線とこれ、少しずれていますけれども。もともとは今回、避難訓練についてあれなんで。

○委員（神武 綾委員） すみません。13節コミュニティ無線についてでいいかなと。

○委員長（陶山良尚委員） そうですか、じゃあ、それはそれでちゃんとやっていただければいいですよ。じゃあ、13節のコミュニティ無線についてということでもいいですね。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） そういう国の方針も含めて続けていくということであれば、やっぱり点

検とか、この前の一斉避難訓練のときに聞こえなかったということはうちの地域でもありましたけれども、点検ですよ、事前に点検するとかというようなことをやっぱりきちんとやっとなかないと、市民の方が不信感を持ちますよね、市に対して。一斉訓練するのに、聞こえんやないかと、そもそもが聞こえてないと、壊れているんじゃないかと、そういうふうになるので、そこのところをお願いしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 要望でいいですか。

ほかにはありませんか。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） また避難訓練に戻って、これ、前回令和4年度の予算のときも内容が詰まってないということで、多分各委員からいろいろ質問が出たけれども、とにかくやらせてくださいと。そこで反省点、改善点が出てくるかということで期待しとったんですけども、予算要求で頂いた資料なんですけど、検証と評価についてはアンケートの結果、これ参加者だけですね、それと改善点、令和5年度に向けて改善点は未定という形で、また令和4年度と同じ100万円が消耗品費として上がってきているんですけども、ここら辺ちょっとしっかり検証、改善をしたところで、これももう年度が終わってしまいますので、ということで、この100万円というのはまだ内容については詰まってないという状態で受け取っていてよろしいんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 今後検討させていただきたいと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、14時10分まで休憩いたします。

休憩 午後2時03分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後2時10分

○委員長（陶山良尚委員） それでは再開します。

160ページ、10款教育費に入ります。

1項教育総務費、1目教育委員会費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、162ページ、2目事務局費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 事務局費の162ページで10万9,000円の繰入れが、これ公共施設整備だと思ってしまうんですけども、これは細目のほうでいうとどこに当たるのかをちょっと教えてください。

い。

○委員長（陶山良尚委員） 10万9,000円の繰入金ですかね。

○委員（笠利 毅委員） どこで使われているのかということです。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 申し訳ございません、ちょっとこれ確認させていただいて、後ほどお答えさせていただいてよろしいでしょうか。申し訳ございません。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 165ページの下から2番目、14節の工事請負費です。これはつばさ学級か何かの工事になるのでしょうか、すみません、お願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 委員さんがお見込みのとおりでございます、つばさ学級、教育支援センターの照明のLED化の工事でございます。1階、2階、それから廊下の部分をLED化する計画でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 165ページの不登校対策費、審査資料のほうは14ページの下のほうです。これが不登校児童生徒支援の推進というところで、不登校児童生徒数の推移とつばさ学級、適応指導教室の利用者数を5年間いただきました。つばさ学級のほうはそこそこですね。コロナがあってもこれ通っている児童・生徒の数はほぼ変わってないんですけれども、不登校生徒のほうの数字が、これ平成29年比ですよ。比率でいただきましたので、令和4年度は3.73倍、小学校、中学校は1.43倍と増えている形なんです、これ比率じゃなくて、ちょっとちなみに令和4年度の人数という形で教えていただけないでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 人数についてはもちろん把握はしておりますけれども、具体的な数字、人数については差し控えさせていただけたらと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 人数というのはちょっと具体的には教えていただけないということなんです、かなりの人数じゃないかなと思われ。しかしながら、これつばさ学級的には令和4年度は17人なんですよ。多分、この実際の不登校の生徒とこのつばさ学級に通っている児童・生徒数は乖離があると思うんですが、逆につばさ学級に通ってない子どもたちはどういふケアをしているのかとちょっと心配になりまして、それは予算に反映されているのかということです。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○**学校教育課長（鳥飼 太）** つばさ学級以外の不登校の児童・生徒でございますけれども、校内の適応指導教室でありますとかそういったところに通っている児童・生徒もおりますし、また民間でもフリースクールに通っている児童・生徒もおるような状況でございます。

以上でございます。

○**委員長（陶山良尚委員）** 教育部理事。

○**教育部理事（堀 浩二）** 予算としましては、今話がありました校内の適応指導教室、特に今小学校が増えておりましたので、現在小学校のほうにも設置をするような予算はいただいております。

あと、スクールソーシャルワーカーに関しても、家庭と学校をつなぐというところで活躍してもらっておるところでございますが、今ご指摘のとおり、つばさにまず通ってこれるというのはもうかなり、家庭にずっといる子に比べると外に出れているので、現在、ずっと家の中から出れない子に対する支援として、先ほどフリースクールもありましたが、ICTを使った対応ですね、在宅で学習したものの対応ということで、予算にはなっていませんが、そちらの対応と、先日答弁させていただきましたが、大学の先生から、そのステージというか状況に応じた手だてについての今実践研究をしていただいておりますので、何とか少しでも前に向けるようにという努力はしております。

以上でございます。

○**委員長（陶山良尚委員）** 木村副委員長。

○**副委員長（木村彰人委員）** いただいた資料だけではそこら辺がちょっと見えてこないんで、逆に別の機会でも、支援とかそこら辺の手が届かない子がいないというような形での、何かしらのアプローチができているというような形での何かしらの情報発信があれば、非常に分かりやすいと思います。要望です。

○**委員長（陶山良尚委員）** ほかにはありませんか。

経営企画課長。

○**経営企画課長（轟 貴之）** 先ほど笠利委員さんからご質問がございました10款1項2目事務局費の繰入金10万9,000円についてですが、こちらの充当先につきましては、165ページにございます不登校対策費の14節施設改修工事、それこそ教育支援センターの照明LED化になるんですけれども、こちらのほうに充当という形になっております。

以上でございます。

○**委員長（陶山良尚委員）** よろしいでしょうか。

笠利委員。

○**委員（笠利 毅委員）** 照明のLED化は108万9,000円ですか、すごく大きな額なのに、10万9,000円だけ充当されたというのは一体何なんだろうという疑問からきた質問だったので、できればその理由を教えていただければ。

○**委員長（陶山良尚委員）** 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） 差額の98万円につきましては、市債を活用しておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目についてはよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、166ページ、3目人権教育費について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 167ページ、001南児童館ですけれども、会計年度任用職員14万1,000円ということで、資料請求で9ページに社会教育課の児童館地域活動支援員、フルタイム2というふうになっているのがここに当たるのでしょうか。違うのであれば、どこに当たるのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） 予算審査資料の9ページの分をおっしゃっていらっしゃることでよろしいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○社会教育課長（添田邦彦） 9ページでいいますと、社会教育課で4項目上がっておりますが、一番下の生活補助指導員、こちらに当たるようになります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） ということは、その上に書いてある（児童館）って書いてあるのは、また別のところになるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） はい、そのとおりです。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 後で聞きます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目特別支援教育費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、168ページ、5目幼稚園費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項小学校費、1目学校管理費について質疑はありませんか。これが172ページまでですね。



よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目教育振興費について質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) 1目でもよろしいですか。

○委員長(陶山良尚委員) 1目のどこですかね、学校管理費の中ですかね。許可します。

○委員(笠利 毅委員) すみません、小学校施設整備費等で校舎等の補修がいろいろありますけれども、公共施設の省電力化というか、その辺の進捗具合といいますか、進展予定といいますか、聞かせていただければと思います。

○委員長(陶山良尚委員) 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長(福田久博) 水城小学校の改築工事におきまして、屋上に太陽光発電設備をつける計画になっております。

以上です。

○委員長(陶山良尚委員) 笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) 例えば可能な限りゼロ・エネルギー・ビルディングを目指すとか、そのような設計方針は持って臨んだのでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長(福田久博) そのあたりはちょっと費用もかかりますので、今後の検討課題だというふうに考えております。

以上です。

○委員長(陶山良尚委員) 徳永委員。

○委員(徳永洋介委員) すみません、同じように171ページ、水泳指導業務委託料ですけれども、去年より若干上がっているようなんですけれども、小学校としては水城西、水城、太宰府小でいいんですかね、今のところ。

○委員長(陶山良尚委員) 学校教育課長。

○学校教育課長(鳥飼 太) 令和5年度も委員さんおっしゃるように太宰府小学校、水城小学校、水城西小学校の3校の予定でございます。指導回数は去年に比べて若干増えております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) 徳永委員。

○委員(徳永洋介委員) いや、先の話になりますけれども、ほかの小学校もプールが老朽化してきたときも、そのときも同じように業務委託という方向性でいくんですか。

○委員長(陶山良尚委員) 学校教育課長。

○学校教育課長(鳥飼 太) その方向で検討は進めていきますけれども、民間プールも限りがございます。ですので、市民プール等も含めまして、民間プール活用も含めまして検討を進めていくというようなことで考えているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、172ページ、10款教育費、3項中学校費、1目学校管理費について質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今年予算の中には、中学校の配膳室であるとかそういう予算が入ってくると思うんですけども、その財源も念頭に置きつつ、公共施設整備基金に5億円だったかな、積むという話が一昨年秋でしたか市長のほうからあったかと思うんですけども、どういう形で公共施設整備基金を入れてその実現を図ったのか、もしくは入れずにやったのかとか、そのあたりのことをお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） まず、令和3年のたしか9月議会だったかと思っておりますけれども、市長のたしか提案理由の中で、給食の実現のためにも5億円という言い方をしておりましたので、まず5億円全てが給食ということではまずないという前提でございます。当然のことながら、給食の実施方針が決まったのは今年度に入ってからでありますので、当時は自校式とか様々な可能性があったというのが前提としてあるところでございます。

これたしか今年度の補正等々で、一部設計とかそういうもろもろ、給食の配膳室関係の予算を計上してきておりましたけれども、当然こういったものは公共施設の改修になりますので、こういったことにも充てておりますので、当然今回の配膳室にもこういった費用を充てているというところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということは、幾つかのところに分けて繰り入れられているかもしれませんが、配膳室工事にどれぐらい充てたとかということをお教えいただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 8,470万円、基金を繰り入れております。

○委員（笠利 毅委員） すみません、もう一回。

○管財課長（堀 修一郎） 8,470万円です。

○委員（笠利 毅委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかには。

今泉委員。

○委員（今泉義文委員） 11節のランチサービス手数料なんですけれども、686万円ということで50万円ほど上がっていますが、給食が始まるのにどうして上がるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） こちらは、喫食率が本年度に比べてちょっと好調とございますか、注

文していただいている生徒さんが増えているというような状況もございますので、期間は短くなりますけれども、若干予算として増やさせていただいている状況でございます。

○委員（今泉義文委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 175ページの委託料、中学校部活動外部指導者派遣事業委託料300万円。去年と同じ300万円なんですね。予算が少ないのに、外部指導者に対する報酬が決まっています、それがもうほとんど11月過ぎで、もう全然外部指導者は報酬もらってないと思うんですよ。今度部活動が地域移行になるやないですか。今の人数の外部指導者で絶対無理だと思うんですね。だから、5年ぐらい見通して、太宰府市の部活動をどういう方向に持っていかうという、そういう考えはもうできているんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 中学校の部活動に関しましては、文科省からの方針も示されておりました、まず休日の地域移行というところでお示しをされております。それに基づきまして、福岡県のほうもセミナー等を開催されまして、先進事例、民間を活用されたりであるとか、地域のスポーツクラブを活用されたりであるとか、そういった事例を示されておるところでございますが、具体的に福岡県から、福岡県としてはこういうふうにしますということがまだ示されていない状況でございます。

そういった中で、本市といたしましても様々な可能性を探りながら、地域、それから太宰府市本市においては大学等もございますので、そういった連携も含めて地域移行が進めていけたらというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 要望なんですけれども、やはり平日の練習も大事だろうと思うし、中学生は非常に、6時間授業で、そのほか行事もあって忙しい状態。やはり今の状態で外部指導者を増やすようなそういう方向に持っていけないと、結局子どもたちが移動に時間をかけたり、何か無駄な時間を費やすような気もするんで、できるだけ地域の指導者を増やして、そういうふうな方向に持っていけるように要望したいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） すみません、175ページ、11節役務費の調律代なんですけれども、これはピアノの調律かと思われるんですけれども、こちらは年間1台とかそういうような形でされているんでしょうか、教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 年間1回、卒業式の前あたりに調律をしていただいているところがございます。

- 委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。
- 委員（タコスキッド委員） それは全中学校一度にということですか。
- 委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。
- 学校教育課長（鳥飼 太） こちらは学校の予算といたしますか、学校に配当させていただいている予算もございますが、その中で学校の要望に応じてといたしますか、必要に応じていただいておりますが、通常毎年していただいております。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。  
木村副委員長。
- 副委員長（木村彰人委員） 177ページの中学校施設整備費、審査資料のほうは15ページです。資料ありがとうございます。この資料のほうとしては、学業院中学校整備計画の策定に関して、生徒数の推計、令和4年度から令和8年度までと、校舎完成までの年次計画を資料としていただきました。  
まず、生徒数の推計なんですが、令和5年920名、令和6年に992名、あとはもう限りなく1,000名に近づく形で伸びていくわけですけれども、今のところこれ、都府楼前駅周辺のマンションとか、あと坂本地区の住宅整備を加味したところでの推計値になるのでしょうか。
- 委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。
- 学校教育課長（鳥飼 太） 今お示しさせていただいている数値につきましては、今委員さんがおっしゃったマンション建設であるとかそのあたりも加味して数字を上げさせていただいております。
- 委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。
- 副委員長（木村彰人委員） 今でも学業院中学校は仮設の校舎で対応している中で、取りあえずこの人数が増えていく中では、今の仮設校舎、今の現状のままで教室数は足りると考えていてよろしいですか。
- 委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。
- 学校教育課長（鳥飼 太） 今の現状の教室数では、若干足りなくなる可能性があるというふう  
に認識しております。  
以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。
- 副委員長（木村彰人委員） 資料の中で、これが校舎完成までの年次計画を伺ったんですが、現在のところ校舎完成までの年次計画についてはありませんということなんですけれども、これは令和5年度のこの学業院中学校整備計画の中で策定するというふうと考えていてよろしいでしょうか。
- 委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。
- 社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） まだちょっとこの学業院中学校の基本計画の策定業務につきましては、2月22日に設計の業者が決まりましたので、まだ年次計画とまではい

かないんじゃないかなと考えております。1年かけてしっかり議論して決めていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、1目はよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目教育振興費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4項社会教育費、1目社会教育総務費について質疑はありませんか。180ページまでですね。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 179ページ、003いきいき情報センターの委託料の施設管理委託料917万4,000円なんですけれども、これは内容についてお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 文化学習課長。

○文化学習課長（中山和彦） ご質問いただきましたいきいき情報センターの施設管理委託料917万4,000円ですけれども、内訳を申しますと、1階のフリースペースですね、全年齢の分ですね、そのスペースの警備代が1年間分462万円と、1階の共有部分の建物清掃設備管理の330万円、それとエスカレーターの保守点検が125万4,000円で、合わせまして917万4,000円となります。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） フリースペース、全世代型集いのスペースに警備の方がつくということですか。

○委員長（陶山良尚委員） 文化学習課長。

○文化学習課長（中山和彦） 昨年からいろいろ全世代型のスペースにつきましては、開放いたしまして、警備を1月からもう入れております。今年の予算の中では3か月分で、その分が1年間にして462万円ということで、そのまま継続していくということで考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部長。

○総務部長（山浦剛志） 今の件でございますが、いきいき情報センターの1階がそもそも普通財産という位置づけにしております。管財課のほうに関係予算というのは大体つけるようには本来なっていたと思うんですが、そちらが行政財産に変わるということで、フリースペースの問題もありまして、あと監査のほうからも一体的に管理をすべきだというふうなご意見等もいただきましたので、建物全体を行政財産という形で文化学習課管理ということで、管財課の予算を削りましてこちらにつけている部分もあります。併せまして、今申し上げました新たに発生した警備の費用とか清掃の費用ですね、そちらのほうをのせているというふうなことでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（塚 剛委員） 今総務部長がおっしゃったような流れの中で、このいきいき情報センターの管理運営費の中で光熱水費が結構規模的に大きくシェアを占めておりますが、これは今後経常的に上がってくるということで認識しとってよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 文化学習課長。

○文化学習課長（中山和彦） 令和5年度からは文化学習課のほうの分で上がってくるということになります。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 同じく予算資料の16ページ、全世代交流フリースペース活用推進で810万6,000円とあるんですけども、図書コーナーの設置とかそういったのは分かるんですけども、フリースペースのイベントなどの開催とあります。ちょっと私、ずっとここを利用させていただいているんですけども、とてもイベントができるような、すごい声が響くんですね。本当にいらっしゃるご利用者の方にも聞いたんですけども、本当、かたくなに黙ってないと、一人がしゃべったら、もうすごい反響するような場所なんですけれども、どういうイメージをされているのかなと思います。お聞きしたいです。

○委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。

○国際・交流課長（松井百合子） 今が学習スペースとして利用されていますので、一応学習者の方に考慮しながら、平日はなるべくその学習スペースとして利用させていただいて、土日に学習者があまり多くない閑散期みたいなのが多分あると思うんです。そういうときにイベントを開催したいと思います。そしてまた、ほかにもいろいろおそば屋さんとか、ほかにも会社さんが入っていますので、平日はなるべくイベントは控えようとは思っています。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。ただ、平日ももう基本、やっぱり学習をされている方が二、三人いらっしゃるぐらいで、高齢者の方が、やっぱりここはちょっと使いづらい、交流スペースとしてはちょっと声が響くから話せないですよねみたいな話もあるんですけども、こういう状況のままという感じでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。

○国際・交流課長（松井百合子） まだ12月に始まったばかりで、どういう状況かをちょっと分からないまま今走っている状況ですので、また今後を見ながらいろいろ検討していきたいと思えます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。結構そこ、一日中いたらすぐに様子が分かると思いますので、よろしく願います。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) そうしましたら、180ページ、2目青少年教育費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、182ページ、3目青少年対策費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4目図書館費について質疑はありませんか。

原田委員。

○委員(原田久美子委員) 183ページ、17節の移動図書館車2,400万円。これの説明資料を見ますと、2,412万2,000円って書いてあるんですけども、今既存している車すくすく号のリニューアルというのはどういう、詳しく教えていただけませんか。

○委員長(陶山良尚委員) 文化学習課長。

○文化学習課長(中山和彦) 現在のすくすく号なんですけれども、4台目となっております。大体8年から12年で経過して更新をさせていただいております、今までもですね。あの中には3,500冊の本を常に載せた状態になっておりますので、やはり思った以上に、年数じゃなくてそういう部分で、安全に走っていくためには、ちょっといろいろ定期的に替えていこうという中でさせていただいております。

当然、ステーションが38か所ありますので、週4日で2週間ごとに巡回させていただいているところです。アンケートとかいろいろなデータを取りますと、リニューアルをしたすくすく号というのが非常に重宝がられているといいますか、図書館を利用される例えば小学生とかで比較するだけでも、自分だけでは図書館に行けないというお子様が、すくすく号が来ることによって、本を借りたりして読書ができるということの非常に利便がありますので、やはりそこは定期的に計上させていただいているところです。

なお、空環境ですね、一般社団法人の空港振興・環境整備支援機構、そちらのほうからの助成金をいただきまして、そういう形で今回計上させていただいております。

○委員長(陶山良尚委員) 原田委員。

○委員(原田久美子委員) そのリニューアルする間の替えの車というのは動かされるんですか。

○委員長(陶山良尚委員) 文化学習課長。

○文化学習課長(中山和彦) そうですね、この車が12月車検なんです。通常でしたら、前回もですけども、どうにか間に合うんですけども、ちょっと心配しているのが、やはりご存じのように、まずは車が思ったよりも納期がかかるということと、あとそれから改造に入りますので、果たして12月までにできるのかなというのが非常に心配しているところではあります。だから、予算を採択いただければ、すぐにでも入札の手続をしていきたいなと思っております。

す。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5目公民館費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、184ページ、6目文化財整備費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、186ページ、7目文化財活用費について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 187ページの細目002、12節の大宰府展示館指定管理料、これが昨年よりも500万円アップしているわけですね。その理由と、それから下の003の18節負担金で、古都大宰府保存協会補助金、これが440万円減額と、この2つの2点を説明お願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（中島恒次郎） ご質問のあった件を説明いたします。

増額につきましては、指定管理料に今まで大宰府展示館、水城館について学芸担当がいたわけですけれども、その指定管理料を加味してなかったということで増額しております。その分はどこから出ていたかと申しますと、その補助金のほうから出ておりましたので、その分を減額させていただいたというところがございます。指定管理料、適切にはちゃんとそこの指定の館を運営するという目的が少しずれておりましたので、今回改善させていただいたというところがございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、188ページ、8目文化財調査費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、190ページ、5項保健体育費、1目保健体育総務費について質疑はありませんか。192ページまで。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 193ページの18節負担金、補助及び交付金のところの一番下、全国大会出場補助金ですね。当初予算説明資料の11ページにもあるんですけども、これは中学校の中体連は筑紫地区、筑前、県大会、九州大会で全国大会に行くんですけども、小学生の子どもというふうな感じで書いてある、子どもや学生等と書いてあるんですけども、これは一発



全国大会とかでもこういった補助金は活用されるんですか。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大石敬介） この全国大会出場補助金につきましては、県予選などで選考される大会を対象としておりまして、中体連とかインターハイなど学校教育の一環で行われる大会については一応対象外というふうにさせていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 部活じゃなくて、小学生の大会とかあるじゃないですか。結局種目によっては一発全国大会とか、県大会を勝ち抜かなくても、そういう種目もあるんですよ、実際。どここの種目、例えば道場がどこか全国大会をしますと言ったら、それが一発全国大会になるんですよ。それが例えば東京とかで開催されるときこの全国大会出場補助金は、これは充てられることになるんですか。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大石敬介） 先ほども申しましたように、一応予選を通過して出られる全国大会を対象とさせていただいております。

○委員（長谷川公成委員） 分かりました。

○委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） 今のに関連なんですけれども、出場経費の一部というのは、旅費とかそういうことになるんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大石敬介） はい、旅費でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

文化学習課長。

○文化学習課長（中山和彦） 先ほどの移動図書館車の助成先なんですけれども、空港振興とっておりましたけれども、正式には福岡国際空港株式会社のほうからの補助金ということで、環境課のほうから今正式な名称を聞きましたので、すみません、訂正させていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは続きまして、2目施設管理運営費について質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、教えていただきたいんですが、193ページの管理運営費の中の14節工事請負費の中の施設改修工事、これは水辺公園なのかちょっと分からないんですけども、中身についてお知らせください。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大石敬介） 施設改修工事につきましては、全部で11件を予定しております。まず、北谷運動公園のテニスコートで人工芝の張り替えを2面でございますが、それと支柱の改修、それから照明のLEDの改修を予定しております。それから、史跡水辺公園、こちらにつきましては、屋内プールの循環ポンプの取替え、それから貯湯槽といましてお湯をためる槽の改修、それからろ過循環器のポンプの取替えとコインロッカーの改修を予定しています。次に、総合体育館ですが、こちらは受水槽の制御盤の補修、それから受水槽の水源装置の設置を予定しております。それから、大佐野運動公園につきましては、野球場進入路の舗装工事、それから最後に、歴史スポーツ公園は、弓道場の壁の改修を予定しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 委託料12節の水辺公園なんですけれども、来年度になるんですけれども、これは外の屋外プールは開けるつもりですか、それとももうずっと閉鎖したまま。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大石敬介） 現在検討はしておりますが、まだ現時点ではどういうふうにするかというのは決まっておられません。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 大体いつぐらいに決まりそうですか。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大石敬介） できるだけ早く決めたいというふうには考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 今議会でも補正予算が上がっているとおり、開けないとやっぱり追加で補正予算を組まないといけなくなってきますので、指定管理者に、ちょっとそこら辺もよく検討していただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部長。

○総務部長（山浦剛志） 今の水辺公園の関係でございますけれども、屋外の分につきまして、実はワクチン接種の関係もございまして、また今年も春夏あたりでワクチン接種というのが国のほうからと言われております。その関係で、恐らく夏についてもやっぱり難しくなるんじゃないかというふうには私ども考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 細かい話で申し訳ないです。さっきコインロッカーの改修という話がありました。これはコインロッカーが使い勝手が悪いという声が、前、課長にもお話をしたと思うんですけれども、50円か何か入れて、ちょっと忘れ物したと思ったらまた入れないといけなとかということ、ちょっと使い勝手が悪いという声があったんですが、そのやり方は同

じなんでしょうかね、改修ということ。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大石敬介） 今回の改修につきましては、かなり老朽化が進んでおりまして、お金を受ける受皿とかの金具がかなり傷んでおりますので、その交換ということで考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） やはり何回かロッカーに行き来するのが自由にできるということの、ちょっともう少しアイデアがあればと思います。やはりお子さんなんか、帽子忘れた、何忘れたで何回かロッカーを使うので、100円で何回でもでもいいからとか、そこら辺のやり方が昔からずっと変わってないというところがあって、使いにくいという声がかかなり来ていますので、何かいいアイデアがあったら、またよろしくお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 要望でいいですか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 先ほど総合体育館ですかね、ポンプか何か制御盤の修理か何かの話が出ていましたけれども、受水槽のポンプの制御盤ですかね。これ、体育館でいくと七、八年かな。制御盤の取替えというのは、例えば基盤の取替だけで済むような工事でもないわけですか。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大石敬介） 受水槽を制御する制御盤というのがございまして、これが一部機能がちょっとできていない、機能がちょっと果たしてないところがありますので、その分を改修、補修をさせていただきたいというふうに考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 部分的にということですね。ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはよろしいですかね。

門田委員。

○委員（門田直樹委員） すみません、これも長くなるとるんで、なるべく短くいきたいけれども、歴史スポーツ公園に関して、倉庫を寄附を受けて現状あるということで、これはもう何度も何度も申し上げてきてあれなんです、結局いわゆる勝手に置いてきたわけで、しかしそれを市が認めてきたわけですね、黙認してきたと。それで、市の責任が大きいと思う。そして、結局はこれを寄附として受け取ったと、5ないし6棟ですよ。

そのことは何度も申したからあれですけれども、まず1点聞きたいのが、この現状の利用実態。これはもう市の施設になったわけですよ。市が管理しとるんだけど、今までこれをもともと持っていた各団体以外の、例えばグラウンドゴルフであるとかその他の団体等が使っているのかがまず1点。

そして、再三申し上げておるように、これらをもうとにかく市が受け取ったんだから、市の

責任でどこかもう少し場所を考えて移動して、そして適切な利用をさせるということは考えないのか、その点についてお答えください。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（大石敬介） 1点目の利用団体については、新たに別に貸出しするような団体等はありませんので、今まで使ってあった団体さんが使っていただいているということでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 都市整備部長。

○都市整備部長（高原 清） 2点目のその倉庫の在り方でございますが、今回、市長の施政方針等にも、公園、それから公民館、公共施設、そういった役割、意義について様々な観点から再整理して、柔軟かつ効率的に施設を使いこなす方策、さらに今後の施設整備の在り方について検討を進めていくとも述べられておりますので、ただいまの門田委員のご意見も踏まえまして、今後検討してまいりたいと思います。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 関連して、1点目のほうですけれども、以前の利用団体と変わりはないということですが、あれは行政財産の目的外使用という形になっていたかと思うんですが、改めて申出を受けるとか、あるいは利用したい人を公募すると、公募というんですかね、そのような手続は踏まれているんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 都市整備部長。

○都市整備部長（高原 清） 倉庫の利用に関しましては、教育委員会のほうに委任はしておりますが、改めてこの公募というのは行っておりません。現在、多目的グラウンドを利用されている方々の利便性向上という目的のために設置をしておりますので、その趣旨、目的に沿った形で今後とも使いたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 補足的な確認ですけれども、最初に使用許可をしたときに、いついつまでというようなことは定めておいたんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 都市整備部長。

○都市整備部長（高原 清） これは毎年こちらについては使用者といいますか、利用者のほうから申請はいただいております。こちらにつきましては、建設課のほうで受け取っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目を終わります。

194ページ、11款に入ります。災害復旧費に入ります。

1 項 1 目文化財施設災害復旧費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 2 項 1 目、2 目、農業施設災害復旧費、林業施設災害復旧費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3 項公共土木施設災害復旧費、1 目道路橋梁災害復旧費、2 目河川災害復旧費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、196 ページ、4 項その他公共施設・公用施設災害復旧費、1 目衛生施設災害復旧費、2 目緑地等災害復旧費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、12 款公債費に入ります。

1 項公債費、1 目元金、2 目利子について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、198 ページ、1 項 1 目予備費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、以上で歳出の審査を終わります。

次に、16 ページ、歳入に入ります。

1 款市税、1 項市民税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2 項固定資産税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3 項軽自動車税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4 項市たばこ税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、1 款の 5 項都市計画税、6 項入湯税、7 項歴史と文化の環境税について質疑はありませんか。

馬場委員。

○委員(馬場礼子委員) 18 ページの 7 項の歴史と文化の環境税ですけれども、納税義務者、要は課税の検証とかあるいは業者の登録というのは何件ぐらいございますか。

○委員長(陶山良尚委員) 税務課長。

○税務課長(田代 浩) 事業所の数としては 43 事業所です。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですかね。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） この事業所の納税義務というところでの課税の検証はしっかりされているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 税務課長。

○税務課長（田代 浩） 申告納税という形になりますので、内容的にそんなおかしいといいますが、というのではないというふうに思っております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかはよろしいですかね。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2款地方譲与税、1項地方揮発油譲与税、次のページですね、2項自動車重量譲与税、3項森林環境譲与税まで質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3款利子割交付金、1項利子割交付金について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4款配当割交付金について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5款株式等譲渡所得割交付金について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、22ページですね。まとめていきます。6款法人事業税交付金、7款地方消費税交付金、8款ゴルフ場利用税交付金、そして9款環境性能割交付金について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、24ページ、10款地方特例交付金並びに11款地方交付税、そして12款交通安全対策特別交付金、そして13款分担金及び負担金について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、26ページ、14款使用料及び手数料、32ページまでですね、質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、15款国庫支出金について質疑はありませんか。38ページまでですね。まとめて国庫支出金は質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、16款県支出金、40ページですね、1項、2項、そして42ページ、そして44ページ、そして46ページまでですね。3項まで質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 41ページの16款2項総務費県補助金で、先ほどちょっと、これはまほろば号のことだということで生活交通確保対策補助金のことをお聞きしたんですけれども、これは昨年と同じ1,000万円ですけれども、この補助率が5分の1と2分の1のものがあるようですけれども、昨年と割合が変わっているんですけれども、どのような変化があったのかちょっと教えていただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 1,000万円の分なんですけれども、まず、こちらが福岡県の補助金になりまして、コミュニティバス運行に関する補助金です。上限が1,000万円、1市町村1,000万円なので、金額としては同じ。割合が少し変わります、うちのほうでは今のところこの5分の1、20%に対して割合でいっているというような状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは続きまして、46ページ、17款の財産収入。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 45ページの社会教育費補助金いいですか。

○委員長（陶山良尚委員） いいですよ、45ページの。

○委員（神武 綾委員） 45ページ、社会教育費補助金の地域活動指導員設置事業補助金375万9,000円ってあるんですけれども、さっき南児童館の指導員のことでお尋ねして、残りの分をちょっと聞いたかったんですけれども、タイミングがつかめなかったんですが、資料請求の9ページに、社会教育課で地域活動支援員で運営補助員、指導主事、児童館ということで、今年フルタイムで2名ずつ採用されているんですけれども、これとこの地域活動支援員設置事業補助金は関連はあるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） 9ページにあります地域活動指導員のうち3名分を補助の対象として、3分の2以内で交付を受けております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） すみません、ちょっと詳しく。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） 社会教育課のほうで地域活動指導員を6名と生活補助指導員を1名採用させていただいているんですが、そのうちの3名分を補助対象ということで県のほうに申請して、3分の2以内で補助をいただいているということになります。

以上です。

- 委員長（陶山良尚委員） 神武委員。
- 委員（神武 綾委員） どれとどれとどれとかということではないのでしょうか。
- 委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。
- 社会教育課長（添田邦彦） 9ページの仕分でいきますと、指導主事が1名分、児童館が1名分、運営補助員が1名分ということで今のところ申請をしているところでございます。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは次に、46ページの17款財産収入ですね、1項、次のページの2項までですね。財産売却収入まで質疑はありませんか。  
小島委員。
- 委員（小島真由美委員） 利子及び配当金の財政調整資金の運用収入なんですけど、これ今運用は国債でまだされてあるんですかね。
- 委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。
- 総務部経営企画担当理事（村田誠英） 基本的に運用の中心は国債でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。  
神武委員。
- 委員（神武 綾委員） 同じく利子及び配当金の47ページ一番下の国際交流振興基金運用収入ですけれども、歳入3,000円ということになっていまして、令和4年度は19万1,000円って立ててあったと思うんですけれども、これは運用を変えられたとか、何か変化があつて。額がすごく減っているのですよね。これは基金の運用を使って補助金を出しているというような説明が以前あつていましたので、その点お願いします。
- 委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。
- 国際・交流課長（松井百合子） 今は銀行のほうに定期預金という形で預けていまして、利率が0.002%ということで、3,000円ぐらいの利息に今はなっております。  
以上です。
- 委員長（陶山良尚委員） 神武委員。
- 委員（神武 綾委員） 令和4年から令和5年に変えるということですか。変わって金額が減ったということでしょうか。
- 委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。
- 国際・交流課長（松井百合子） そうですね、ずっと令和2年ぐらいから定期預金を1年間ずつ行っているような状況でございます。ですので、0.002%でずっと推移をしている状況です。  
以上です。
- 委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。  
ほかにありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）



○委員長（陶山良尚委員） では、次に進みます。

18款寄附金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、19款繰入金について質疑はありませんか。50ページ、2項までですね。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、20款繰越金、次のページまで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、21款諸収入について質疑はありませんか。54ページまでですね。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 53ページの4項雑入のところなんですけれども、衛生費が去年から、衛生費雑入が5倍ぐらいになっていて、教育費雑入も何か4、5倍、何か極端に多くなっているように思えるので、これは一体何を指しているのかということをお教えいただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） まず、衛生費雑入がかなり金額が昨年度比増となっております主な要因としましては、先ほどの移動図書館の助成の分の増がこちらのほうに計上されておる状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

○委員（笠利 毅委員） 教育費。

○委員長（陶山良尚委員） 教育費も。

経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） 恐れ入ります。教育費雑入につきまして、主な増要因でございますが、先ほどこちらもお説明させていただきましたいきいき情報センターの光熱水費、こちらの分が総務費雑入からの移管ということで、教育費雑入が増となっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

会計課長。

○会計課長（添田朱実） すみません、先ほどの47ページの財産収入、財産運用収入のところの国際交流振興基金運用収入の金額の違いですけれども、今はこの基金については定期預金のほうで運用しております。定期預金の利率が、以前は銀行さんは大口であれば少し上乗せの金利をしていただいていたんですけれども、今はどちらの銀行さんも店頭金利の0.002%しかもう受け入れていただけないような状況になっておりますので、利息のほう、運用益のほうは減って

いるというような状況でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） それは銀行のほうの制度が変わったということですね。

○委員長（陶山良尚委員） 会計課長。

○会計課長（添田朱実） 制度が変わったというよりも、結局銀行さんも定期預金をたくさん預かったとしても、今までのようなお徳感がないというか、というところで、もう基本的には店頭金利でのみお預かりさせていただきますということになりましたので、上乗せ金利がいただけないような状況になっています。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、次に進みます。

22款市債について質疑はありませんか。次のページ、最後までですね。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 以上で歳入の審査を終わります。

次に、8ページの第2表債務負担行為について質疑はありませんか。

総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） すみません、私、先ほど小島委員の質問のときに運用の中心を国債と申しましたが、失礼しました、地方債です。失礼しました。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、債務負担行為について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、10ページの第3表地方債について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、200ページから202ページまでの給与費明細書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、204ページから216ページまでの各調書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、歳入歳出全般について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換を行います。意見はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 意見交換を終わります。

これから討論、採決を行います。

議案第16号「令和5年度太宰府市一般会計予算について」討論はありませんか。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) 令和5年度の一般会計予算については、これまでも申しておりました同  
和関係予算の変更がされておきませんので、反対とさせていただきます。ほかにもろもろあ  
りますので、その点については本会議にて討論させていただきたいと思ひます。

以上です。

○委員長(陶山良尚委員) ほかに討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第16号を原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願ひます。

(多数挙手)

○委員長(陶山良尚委員) 多数挙手であります。

よって、議案第16号については原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(原案可決 賛成15名、反対1名 午後3時15分)

○委員長(陶山良尚委員) 以上、本会議において報告します。

以上で予算特別委員会に付託されました案件の審査は全て終了しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(陶山良尚委員) ここでお諮りします。

本委員会における審査内容と結果の報告につきましては、委員長にご一任願ひたいと思ひま  
すが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) ご異議なしと認め、委員会の審査内容と結果の報告につきましては、  
委員長に一任することに決定しました。

ここで、令和4年9月定例会の決算特別委員会の委員からの質疑に対する回答について、執  
行部から訂正の申出があつておきますので、発言を許可します。

建設課長。

○建設課長(齋藤実貴男) 昨年9月議会の決算特別委員会において、笠利委員から決算書の43ペ  
ージの6目土木使用料の公園使用料のうちの公園施設等使用料1万2,430円ですけれども、こ  
れは予算どおりの収入になっているんですけれども、歴史スポーツ公園の6つの倉庫の分だ  
つたというふうに聞いておきますけれども、恐らく来年度もこういう収入があるかと思ひん  
ですが、これは6棟全部寄附を受けて市のものになったというふうにおきてよろしいんでし

ようかとの質問を受け、そのとおりでございますと回答しました。さらに、笠利委員から、寄附に際して寄附の届出書というのを受け取ったと思うんですけども、それも6棟分あったということなんでしょうかとの質問に対して、そのとおりでございますと回答しました。しかしながら、6棟ある倉庫のうち5棟が寄附を受けた倉庫でした。訂正させていただき、おわび申し上げます。申し訳ありませんでした。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 一応報告です、訂正ですけども、それではありますか、何か。

じゃあ、一応認めます。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 実は私、そのことは分かっていたんですけども、訂正していただいたことはよかったかなと思いますが、多分そのときも申し上げたかと思いますが、それは別のときですね、別のときでしたけれども、様々な経緯のあった事柄ですので、あってはならないミスであったと思います。それだけはちょっと言わせていただきたいと思います。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） それでは、これをもちまして予算特別委員会を閉会します。

閉会 午後3時18分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

令和5年5月17日

太宰府市予算特別委員会委員長 陶 山 良 尚